

令和4年度
(2022年度)

6月補正予算概要説明書 (記者会見用)

2022年5月
町田市

***** 目 次 *****

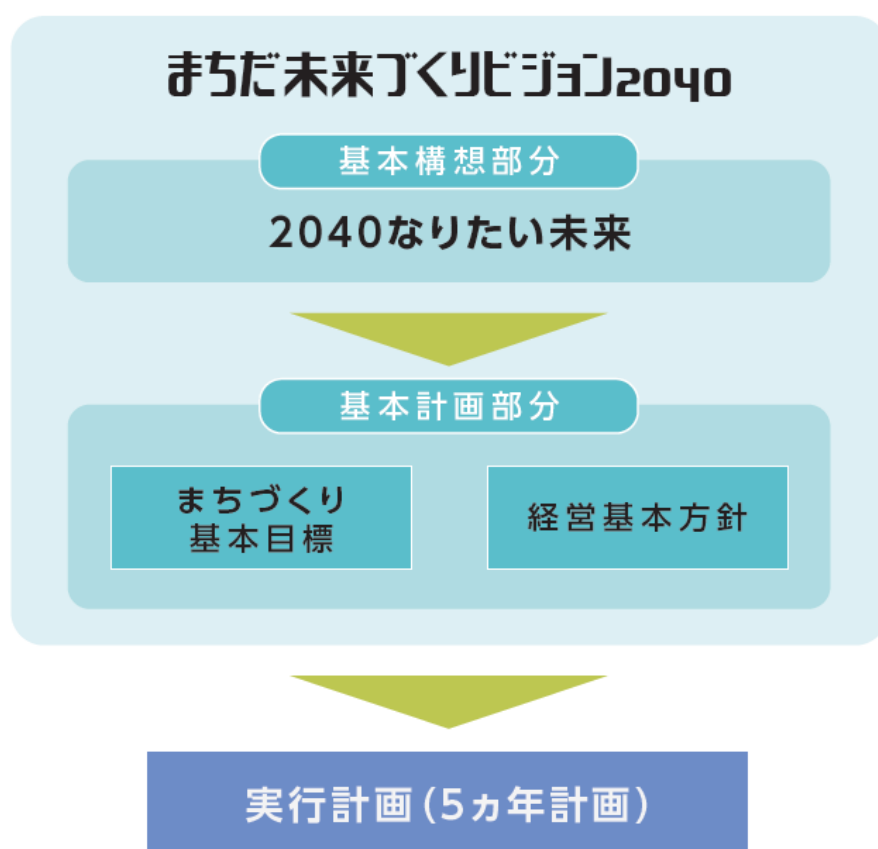
I 2022 年度 6 月補正予算の概要

1	6 月補正予算の基本的な考え方	6
2	予算規模	
	・会計別予算構成表	7
	・一般会計予算規模	7
	・一般会計予算規模 伸び率	8
	・特別会計予算規模	8
	・会計別予算構成	8
(1)	歳入予算	
	・一般会計歳入予算内訳表	9
	・主な歳入予算	9
	・市税の状況	10
	・(参考) 市税の推移	10
(2)	歳出予算	
	・一般会計歳出予算目的別内訳表	11
	・目的別予算の主な内容	11
	・一般会計歳出予算性質別内訳表	12
	・性質別予算の主な内容	12
(3)	積立金(基金)・市債	
	・積立金(基金)の状況	13
	・基金の年度末現在高の推移	13
	・市債の状況	14
	・市債(一般会計)の年度末現在高等の推移	14
3	町田市5ヵ年計画 22-26 における財政見通し	15
4	2022 年度 6 月補正予算の主な事業	17

I 2022 年度 6 月補正予算の概要

1 6月補正予算の基本的な考え方

令和4(2022)年度は、2月に市長選挙が行われたため、当初予算を骨格的予算として編成しました。また、「まちだ未来づくりビジョン2040」、その実行計画「町田市5ヵ年計画22・26」の初年度となることから、6月補正予算は市長の5期目の政策的事業に係る予算を中心に、計画の目標達成に向けた取り組みを着実に推進するため、将来を担う子どもたちの視点にたち、誰にとっても優しい、未来に希望の持てる地域社会の実現に向けた予算を計上しています。



経常的な市民サービスのための経費や、従来から進めていた整備事業を中心として編成した当初予算にこの6月補正予算を合わせ、2022年度年間総合予算になります。



2 予算規模

一般会計と特別会計を合わせた 2022 年度 6 月補正予算は 38 億 7,004 万円で、補正後の年間総合予算額は 2,917 億 6,593 万円となり、前年度当初予算額と比較して、2.8%の減となりました。

2022年度6月補正 会計別予算構成表

(単位: 千円・%)

区 分		2022年度			2021年度		比 較	
		予 算 額	うち6月補正	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
一 般 会 計		161,235,226	3,870,036	55.3	173,842,073	57.9	△ 12,606,847	△ 7.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業 会 計	42,767,626	—	14.7	41,130,520	13.7	1,637,106	4.0
	介 護 保 険 事 業 会 計	37,791,431	—	12.9	36,668,689	12.2	1,122,742	3.1
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 会 計	12,794,809	—	4.4	12,004,508	4.0	790,301	6.6
	鶴 川 駅 南 土 地 区 画 整 理 事 業 会 計	142,709	—	0.0	105,021	0.0	37,688	35.9
	下 水 道 事 業 会 計	19,557,138	—	6.7	18,700,519	6.2	856,619	4.6
	収 益 的	12,114,053	—	4.2	12,738,032	4.2	△ 623,979	△ 4.9
	資 本 的	7,443,085	—	2.5	5,962,487	2.0	1,480,598	24.8
	病 院 事 業 会 計	17,476,986	—	6.0	17,846,727	6.0	△ 369,741	△ 2.1
	収 益 的	15,701,016	—	5.4	14,945,945	5.0	755,071	5.1
	資 本 的	1,775,970	—	0.6	2,900,782	1.0	△ 1,124,812	△ 38.8
	小 計	130,530,699	—	44.7	126,455,984	42.1	4,074,715	3.2
合 計		291,765,925	3,870,036	100.0	300,298,057	100.0	△ 8,532,132	△ 2.8

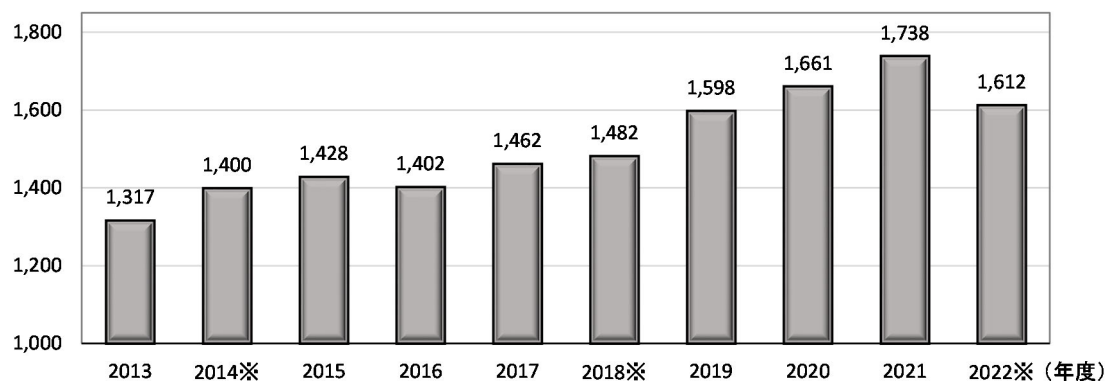
一般会計予算規模 1,612 億 3,523 万円（前年度比 △126 億 685 万円、△7.3%）

一般会計の 6 月補正予算額は、38 億 7,004 万円で、補正後の年間総合予算額は 1,612 億 3,523 万円となり、前年度に比べて 7.3%減となりました。

これは、6 月補正予算で相原駅周辺街づくり事業費が 5 億 3 千万円、循環型施設整備事業費が 4 億 5 千万円、鶴川駅周辺街づくり事業費が 1 億 1 千万円それぞれ増額となり、さらに新型コロナウイルスワクチン接種事業費が 13 億 1 千万円増額となった一方で、骨格的予算として編成した当初予算における小・中学校体育館空調設備設置事業などの大型投資的事業費が減少したことなどによるものとなります。

2022 年度は「町田市 5 ヶ年計画 22-26」の初年度であり、重点事業に位置づけられた政策の実現を目指し、地域における子育て支援や ICT 教育の充実、鶴川駅周辺街づくりなど、町田市が市内外から選ばれ続けるまちとなるために必要な事業を着実に推進します。また、経営基本方針に基づき、デジタル技術の活用により、市民サービスの向上と市役所の生産性向上を目指し、行政のデジタル化を推進します。

○ 一般会計予算規模 伸び率（単位：億円）



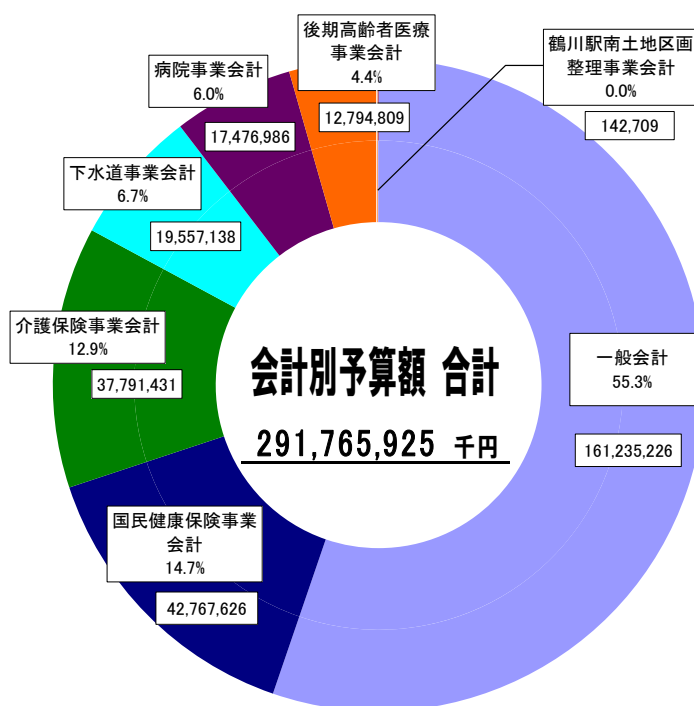
年度	2013	2014※	2015	2016	2017	2018※	2019	2020	2021	2022※
伸び率 (%)	△ 2.8%	6.3%	2.1%	△ 1.8%	4.2%	1.4%	7.8%	4.0%	4.7%	△ 7.3%

※2014年度、2018年度及び2022年度は、当初予算が骨格的予算のため、6月補正後の予算額です。

特別会計予算規模 1,305 億 3,070 万円（前年度比 +40 億 7,472 万円、+3.2%）

〔国民健康保険事業会計〕	被保険者一人あたりの医療費の増などにより 16 億 4 千万円の増
〔介護保険事業会計〕	要支援・要介護認定者数の増などにより 11 億 2 千万円の増
〔後期高齢者医療事業会計〕	被保険者数や医療費の増などにより 7 億 9 千万円の増
〔鶴川駅南土地区画整理事業会計〕	土地区画整理事業委託料の増などにより 4 千万円の増
〔下水道事業会計〕	鶴見川クリーンセンター改良事業費の増などにより 8 億 6 千万円の増
〔病院事業会計〕	病院情報システム更新の備品購入費の減などにより 3 億 7 千万円の減

■ 2022 年度 会計別予算構成（単位：千円）＜当初予算と 6 月補正予算の合計額＞



(1) 歳入予算

2022年度6月補正 一般会計歳入予算内訳表

(単位:千円・%)

款	2022 年度			2021 年度		比 較	
	予 算 額	うち6月補正	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1. 市 税	68,471,747	700,000	42.5	63,619,570	36.6	4,852,177	7.6
2. 地 方 譲 与 税	785,001	—	0.5	700,001	0.4	85,000	12.1
3. 利 子 割 交 付 金	80,000	—	0.1	92,000	0.1	△ 12,000	△ 13.0
4. 配 当 割 交 付 金	553,000	—	0.3	470,000	0.3	83,000	17.7
5. 株式等譲渡所得割交付金	567,000	—	0.4	511,000	0.3	56,000	11.0
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	970,000	—	0.6	506,000	0.3	464,000	91.7
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	8,627,000	—	5.4	8,615,000	5.0	12,000	0.1
8. ゴルフ場利用税交付金	39,000	—	0.0	34,000	0.0	5,000	14.7
9. 環 境 性 能 割 交 付 金	194,000	—	0.1	167,000	0.1	27,000	16.2
10. 地 方 特 例 交 付 金	487,000	—	0.3	2,184,000	1.2	△ 1,697,000	△ 77.7
11. 地 方 交 付 税	1,753,000	—	1.1	1,729,000	1.0	24,000	1.4
12. 交通安全対策特別交付金	48,000	—	0.0	48,000	0.0	0	0.0
13. 分 担 金 及 び 負 担 金	717,567	113	0.4	715,005	0.4	2,562	0.4
14. 使 用 料 及 び 手 数 料	3,569,945	1,943	2.2	3,488,724	2.0	81,221	2.3
15. 国 庫 支 出 金	33,876,241	1,549,353	21.0	34,144,045	19.6	△ 267,804	△ 0.8
16. 都 支 出 金	23,850,025	362,812	14.8	23,731,626	13.6	118,399	0.5
17. 財 産 収 入	1,744,509	—	1.1	1,746,460	1.0	△ 1,951	△ 0.1
18. 寄 附 金	184,393	—	0.1	111,725	0.1	72,668	65.0
19. 繰 入 金	5,040,710	589,718	3.1	4,824,786	2.8	215,924	4.5
20. 繰 越 金	1,000,000	—	0.6	1,000,000	0.6	0	0.0
21. 諸 収 入	1,913,088	97	1.2	1,792,131	1.0	120,957	6.7
22. 市 債	6,764,000	666,000	4.2	23,612,000	13.6	△ 16,848,000	△ 71.4
歳 入 合 計	161,235,226	3,870,036	100.0	173,842,073	100.0	△ 12,606,847	△ 7.3

○ 歳入予算の主な内容

- ・市税では、骨格的予算により留保財源とした7億円を増額します。
- ・国庫支出金では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増加に伴い、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の10億8千万円の増額などにより、15億5千万円の増額を見込んでいます。
- ・都支出金では、相原駅周辺街づくり事業の用地取得に係る費用の増加に伴う道路橋梁費補助金の3億1千万円の増額などにより、3億6千万円の増額を見込んでいます。
- ・市債では循環型施設整備事業の用地取得に係る費用の増加に伴う廃棄物処理施設整備事業債の3億2千万円の増額などにより、6億7千万円の増額を見込んでいます。

〔市税の状況〕 ※金額の増減は前年度当初予算との比較となります。

- ・税制改正に伴う軽減措置等の終了などによる固定資産税の増 19.0 億円
- ・2020 年中における所得減少の影響が限定的であったことによる個人市民税の増 18.7 億円

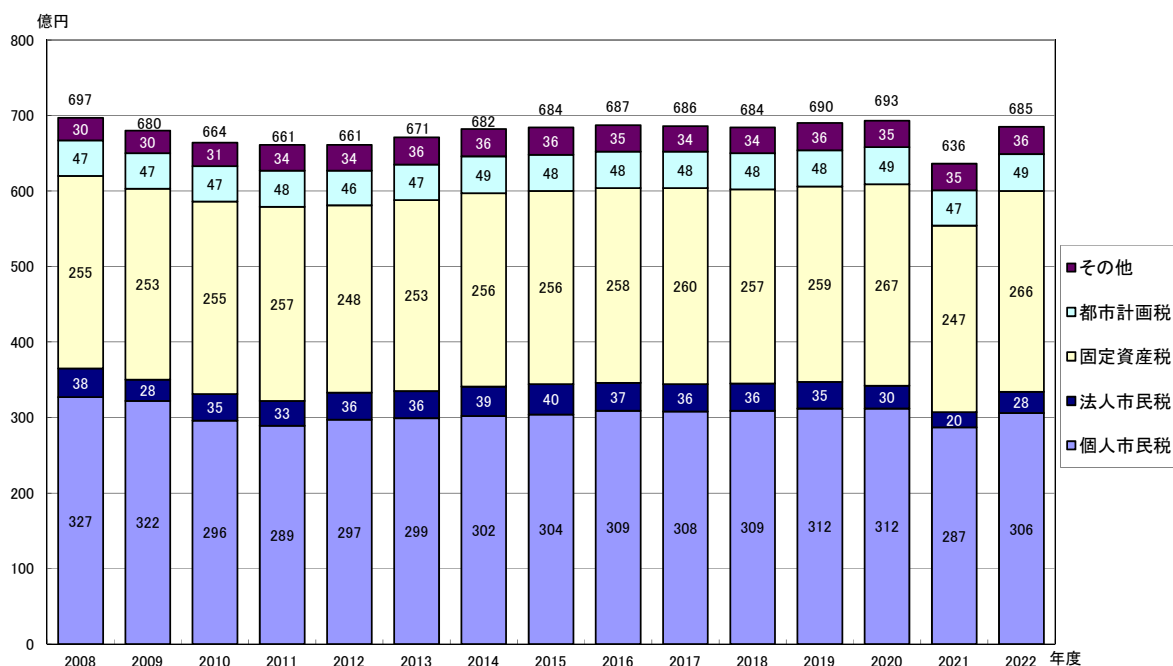
■市税予算の内訳

(単位: 千円・%)

区 分	2022年度	うち6月補正	2021年度	比 較	
				増減額	増減率
市民税	33,377,297	700,000	30,669,816	2,707,481	8.8
個人	30,550,938	700,000	28,678,188	1,872,750	6.5
法人	2,826,359	—	1,991,628	834,731	41.9
固定資産税	26,574,377	—	24,678,885	1,895,492	7.7
土地(現年課税)	11,632,574	—	11,588,954	43,620	0.4
家屋(現年課税)	11,070,303	—	10,135,350	934,953	9.2
償却資産(現年課税)	3,199,440	—	2,189,480	1,009,960	46.1
その他	672,060	—	765,101	△ 93,041	△ 12.2
軽自動車税	525,342	—	508,005	17,337	3.4
市たばこ税	2,274,647	—	2,179,492	95,155	4.4
事業所税	846,831	—	861,194	△ 14,363	△ 1.7
都市計画税	4,870,006	—	4,717,587	152,419	3.2
その他	3,247	—	4,591	△ 1,344	△ 29.3
合 計	68,471,747	700,000	63,619,570	4,852,177	7.6

※市民税(個人)の6月補正における7億円増は、骨格的予算による留保分を計上したものです。

(参考) 市税の推移



※2008～2020 年度は決算額、2021、2022 年度は予算額。

(2) 歳出予算

2022年度6月補正 一般会計歳出予算目的別内訳表

(単位:千円・%)

単位：千円・％

款	2022年度		2021年度 予 算 額 (構成比)	増 減 額 (増減率)	2022年度 予 算 額 の 財 源 内 訳				
	予 算 額 (構成比)	うち6月補正			特 定 財 源				一般財源 (構成比)
					国庫支出金	都支出金	地方債	その他	
1. 議 会 費	641,801 (0.4)	－	664,786 (0.4)	△ 22,985 (△3.5)	225	112	－	－	641,464 (0.7)
2. 総 務 費	17,760,246 (11.0)	79,440	16,361,210 (9.4)	1,399,036 (8.6)	777,031	1,318,904	624,000	903,532	14,136,779 (15.7)
3. 民 生 費	85,510,760 (53.0)	72,987	81,949,332 (47.1)	3,561,428 (4.3)	29,442,802	17,286,308	54,000	2,283,469	36,444,181 (40.6)
4. 衛 生 費	15,080,297 (9.3)	2,102,641	26,695,521 (15.4)	△ 11,615,224 (△43.5)	1,605,176	823,228	540,000	3,194,499	8,917,394 (10.0)
5. 労 働 費	50,659 (0.0)	－	39,427 (0.0)	11,232 (28.5)	14,700	－	－	－	35,959 (0.0)
6. 農 林 費	317,507 (0.2)	3,083	357,394 (0.2)	△ 39,887 (△11.2)	－	39,348	－	3,096	275,063 (0.3)
7. 商 工 費	1,728,939 (1.1)	－	847,145 (0.5)	881,794 (104.1)	809,640	49,275	－	150,036	719,988 (0.8)
8. 土 木 費	14,466,337 (9.0)	1,317,133	10,737,821 (6.2)	3,728,516 (34.7)	811,826	2,103,299	2,128,000	1,491,732	7,931,480 (8.8)
9. 消 防 費	5,014,866 (3.1)	－	4,895,406 (2.8)	119,460 (2.4)	19,008	1,449,250	198,000	144	3,348,464 (3.7)
10. 教 育 費	13,346,015 (8.3)	294,752	20,466,005 (11.8)	△ 7,119,990 (△34.8)	395,833	780,301	795,000	1,221,896	10,152,985 (11.3)
11. 災 害 復旧費	6 (0.0)	－	6 (0.0)	0 (0.0)	－	－	－	－	6 (0.0)
12. 公 債 費	7,217,793 (4.5)	－	10,678,020 (6.1)	△ 3,460,227 (△32.4)	－	－	－	－	7,217,793 (8.0)
13. 予 備 費	100,000 (0.1)	－	150,000 (0.1)	△ 50,000 (△33.3)	－	－	－	－	100,000 (0.1)
歳 出 合 計	161,235,226 (100.0)	3,870,036	173,842,073 (100.0)	△ 12,606,847 (△7.3)	33,876,241	23,850,025	4,339,000	9,248,404	89,921,556 (100.0)

○ 目的別予算の主な内容

- ・衛生費は、21 億円の増額となりました。これは、新型コロナウイルスワクチン接種事業費が 13 億 1 千万円増額したことなどによるものです。
- ・土木費は、13 億 2 千万円の増額となりました。これは、相原駅周辺街づくり事業費が 5 億 3 千万円増額したことなどによるものです。
- ・教育費は、2 億 9 千万円の増額となりました。これは、小・中学校の新型コロナウイルス感染対策事業費が 9 千万円増額したことなどによるものです。

2022年度6月補正 一般会計歳出予算性質別内訳表

(単位:千円・%)

区 分		2022年度			2021年度		比 較	
		予 算 額	うち6月補正	構成比	予 算 額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人 件 費	23,419,945	4,376	14.5	23,199,485	13.4	220,460	1.0
	職 員 給 与 費	22,524,852	1,343	14.0	22,285,137	12.8	239,715	1.1
	特 別 職 給 与 費 等	895,093	3,033	0.5	914,348	0.6	△ 19,255	△ 2.1
	扶 助 費	55,581,373	119,054	34.5	53,578,534	30.8	2,002,839	3.7
	公 債 費	7,217,792	—	4.5	10,678,019	6.1	△ 3,460,227	△ 32.4
	計	86,219,110	123,430	53.5	87,456,038	50.3	△ 1,236,928	△ 1.4
投 資 的 経 費		10,046,807	1,628,431	6.2	29,040,111	16.7	△ 18,993,304	△ 65.4
そ の 他 経 費	物 件 費	29,695,309	2,099,635	18.4	24,124,253	13.9	5,571,056	23.1
	維 持 補 修 費	874,870	—	0.5	814,700	0.5	60,170	7.4
	補 助 費 等	15,571,743	18,540	9.7	14,841,623	8.5	730,120	4.9
	繰 出 金	17,649,526	—	10.9	16,737,807	9.6	911,719	5.4
	出 資 金 ・ 貸 付 金	101	—	0.0	101	0.0	0	0.0
	積 立 金	1,077,760	—	0.7	677,440	0.4	400,320	59.1
	予 備 費	100,000	—	0.1	150,000	0.1	△ 50,000	△ 33.3
計		64,969,309	2,118,175	40.3	57,345,924	33.0	7,623,385	13.3
歳 出 合 計		161,235,226	3,870,036	100.0	173,842,073	100.0	△ 12,606,847	△ 7.3

○ 性質別予算の主な内容

義務的経費

・ 扶助費

保健所関係医療費助成費が 9 千 9 百万円の増額などにより、1 億 2 千万円の増額となりました。

投資的経費

循環型施設整備事業用地購入費等が 4 億 5 千万円、相原駅周辺街づくり事業の用地購入費等が 5 億 2 千万円、香山緑地整備工事費が 1 億 4 千万円の増額などにより、16 億 3 千万円の増額となりました。

その他経費

・ 物件費

新型コロナウイルスワクチン接種事業の事業・業務委託料、予防接種委託料等が 13 億 1 千万円、HPVワクチン接種事業の予防接種委託料等が 2 億 3 千万円、鶴川駅周辺街づくり事業の設計委託料等が 6 千万円増加したことなどにより、21 億円の増額となりました。

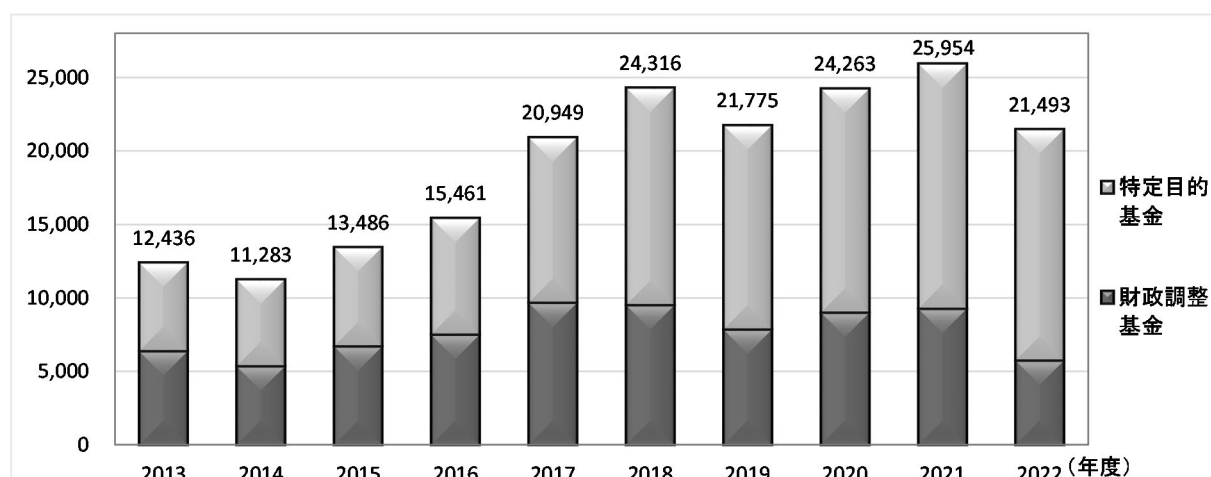
(3) 積立金（基金）・市債

①積立金（基金）の状況

財政調整基金現在高は、2021年度末時点で92億8,514万円です。2022年度中の取崩見込額は、当初予算の30億7,890万円に、6月補正予算の4億5,157万円を追加し、35億3,047万円となり、2022年度末現在高見込額は57億6,177万円となります。

区 分	2020 年 度 末 現 在 高	2021 年 度 末 現 在 高 見 込 額	2022 年 度 中 増 減 見 込 み		2022 年 度 末 現 在 高 見 込 額
			当 該 年 度 中 積 立 中 額	当 該 年 度 中 取 崩 ・ 繰 戻 額	
財 政 調 整 基 金	千円 9,016,059	千円 9,285,137	千円 7,103	千円 3,530,471	千円 5,761,769
公 共 施 設 整 備 基 金	6,566,417	6,755,212	39,838	453,514	6,341,536
緑 地 保 全 基 金	1,491,690	1,445,737	1,171	222,564	1,224,344
福 祉 基 金	76,523	76,556	25,059	—	101,615
職 員 退 職 手 当 基 金	1,580,089	2,317,251	—	—	2,317,251
介 護 保 険 給 付 費 準 備 基 金	2,518,404	2,977,167	1,991	500,000	2,479,158
廃棄物減量再資源化等推 進 整 備 基 金	2,064,664	1,977,667	609,556	729,480	1,857,743
まちだ未来づくり基金	197,812	365,158	142,447	104,678	402,927
多摩都市モノレール基金	750,180	750,501	250,586	—	1,001,087
まち・ひと・しごと創生基金	1,300	3,300	2,000	—	5,300
合 計	24,263,138	25,953,686	1,079,751	5,540,707	21,492,730

■基金の年度末現在高の推移（単位：百万円）

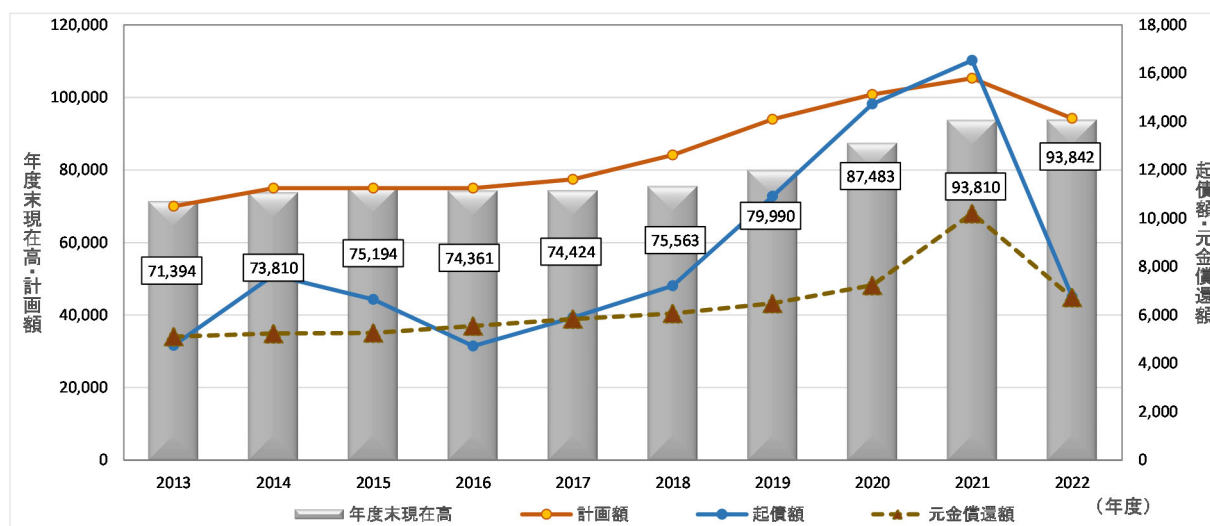


②市債の状況

一般会計では、当初予算で計上した 60 億 9,800 万円に加えて、6 月補正予算で 6 億 6,600 万円を起債し、2022 年度末の市債元金現在高見込額は 938 億 4,230 万円となる見込みです。

区 分	2020 年 度 末 現 在 高	2021 年 度 末 現 在 高	2022 年 度 中 増 減 見 込 み		2022 年 度 末 現 在 高 見 込 額
			当 該 年 度 中 起 債 見 込 額	当 該 年 度 中 元 金 償 還 見 込 額	
	千円	千円	千円	千円	千円
一 般 会 計	87,482,916	93,810,183	6,764,000	6,731,881	93,842,302
下 水 道 事 業 会 計	43,860,450	43,153,808	3,614,400	3,058,178	43,710,030
病 院 事 業 会 計	9,957,532	10,546,773	639,200	765,540	10,420,433
合 計	141,300,898	147,510,764	11,017,600	10,555,599	147,972,765

■市債（一般会計）の年度末現在高等の推移（単位：百万円）



3 町田市5ヵ年計画22-26における財政見通し（一般財源ベース）

町田市5ヵ年計画22-26における財政見通しの令和4(2022)年度計画額と予算計上額との比較及び計画の進捗状況は以下のとおりです。

■町田市5ヵ年計画22-26 財政見通しと進捗率

(単位：百万円)

A		B	C	D		D/A	
	2022～2026 年度の 計画事業費	2022 年度 (令和4年度) 計画額	2022 年度 (令和4年度) 予算額 ①+②			計画の進捗状況 (2022年度まで：予算ベース)	
				【当初】	【6月補正】	予算額合計	進捗率
				①	②		
歳入（一般財源）	475,680	93,626	93,995	92,844	1,151	93,995	19.8%
市税	346,620	68,472	68,472	67,772	700	68,472	19.8%
譲与税・交付金等	70,572	14,103	14,103	14,103	0	14,103	20.0%
基金繰入金	18,115	3,615	3,984	3,533	451	3,984	22.0%
その他	40,373	7,436	7,436	7,436	0	7,436	18.4%

歳出（一般財源）	483,108	93,626	93,995	92,844	1,151	93,995	19.5%
義務的経費	202,362	39,966	39,991	39,966	25	39,991	19.8%
人件費	97,149	20,096	20,096	20,096	0	20,096	20.7%
正規職員	81,152	16,889	16,889	16,889	0	16,889	20.8%
退職手当	4,544	1,312	1,312	1,312	0	1,312	28.9%
会計年度任用職員	15,997	3,207	3,207	3,207	0	3,207	20.0%
扶助費	64,863	12,652	12,677	12,652	25	12,677	19.5%
公債費	40,350	7,218	7,218	7,218	0	7,218	17.9%
その他の経費	280,746	53,660	54,004	52,878	1,126	54,004	19.2%
繰出金等	90,539	18,117	18,117	18,117	0	18,117	20.0%
事業費	190,207	35,543	35,887	34,761	1,126	35,887	18.9%
経常事業費等	156,364	31,099	31,398	31,099	299	31,398	20.1%
政策的事業費	33,843	4,444	4,489	3,662	827	4,489	13.3%

歳入－歳出 (＝▲収支不足額)	▲ 7,428	0	0	0	0	0	
--------------------	---------	---	---	---	---	---	--

4 2022 年度 6 月補正予算の主な事業

新規 全部もしくは一部が新たに実施する事業 **拡充** 事業の内容を拡充し行う事業

(1) 町田市 5 ヶ年計画 22-26 における主な取り組み（重点事業）

未来を生きる力を育み合うまちになる

拡充 中学校給食センター整備事業 **32 万円** （20 ページ）

2025 年度までに町田忠生小山エリア、南地エリア及び鶴川エリアに PFI 手法・リース方式を活用して給食センターを整備し、中学校全員給食を導入します。

学童保育クラブ改修事業 **1,418 万円** （22 ページ）

学童保育クラブの環境改善に必要な改修工事等を行います。

いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる

スポーツをする場の環境整備事業 **2,606 万円** （23 ページ）

小山上沼公園スポーツ施設、後田グラウンドスポーツ施設及び金森調整池上部スポーツ施設を、公の施設として活用するために必要な施設整備を行います。

新規 新たな図書館づくり推進事業（図書館サービスのデジタル化） **1,204 万円** （24 ページ）

時間や場所に関わらず「あらゆる市民が利用しやすい図書館」や、デジタル化をはじめとした「社会状況の変化に対応できる図書館」を目指し、新たな図書館づくりを進めます。

つながりを力にするまちになる

循環型施設整備事業 **4 億 5,003 万円** （25 ページ）

資源ごみ処理施設（相原地区、上小山田地区）について、測量や用地取得に向けた手続き、準備等を進めます。

新規 地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業 **975 万円** （26 ページ）

2023 年 1 月から、相原地区及び小山地区の 2 地区をモデル地区とし、地域における包括的な相談支援、潜在的な相談者への継続したアウトリーチ支援を実施します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

思わず出歩きたくなるまちになる

都市計画道路築造事業

6,316 万円 (27 ページ)

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業

6,728 万円 (30 ページ)

「町田の文化と自然に出会えるパークミュージアム」を実現するために、芹ヶ谷公園“芸術の杜”と、(仮称)国際工芸美術館、国際版画美術館の一体的な整備を進めます。

多摩都市モノレール延伸事業

800 万円 (32 ページ)

モノレール沿線まちづくり構想策定に向けた基礎調査を行います。

忠生 579 号線・忠生 630 号線整備事業

4,216 万円 (33 ページ)

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路の整備を進めます。

鶴川駅周辺街づくり事業

1 億 737 万円 (34 ページ)

北口交通広場の整備工事や南口アクセス路の用地測量等を行います。

相原駅周辺街づくり事業

5 億 2,842 万円 (36 ページ)

駅東口の駅前広場用地を取得し、駅前広場に接する関係者と駅前街区の再編整備に向けた検討を進めます。また、町田街道から駅東口への新たなアクセス路の整備を進めます。

香山緑地整備事業

1 億 3,826 万円 (37 ページ)

鶴川地域の観光拠点の一つとするため、香山緑地内にある既存建物の耐震・改修工事を行います。

(仮称) 蓮田緑地整備事業

3,150 万円 (38 ページ)

(仮称) 蓮田緑地の実施設計を行います。また、2023 年度にプレオープンするため、先行してハスの開花時期に開放する駐車場の整備工事を行います。

(仮称) 大戸広場整備事業

2,501 万円 (39 ページ)

(仮称) 大戸広場の整備に係る基本設計、地形測量業務委託等を行います。

みんなが安心できる強いまちになる

無電柱化推進事業

5,920 万円 (40 ページ)

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、原町田中央通り、町田 623 号線、文学館通りの無電柱化を進めます。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

(2) その他の取り組み（経営改革プラン、公共施設維持保全事業、その他社会情勢の影響を受けて行うもの）

公共施設等維持保全事業

2 億 2,138 万円 （41 ページ）

施設の安全性の確保と財政負担の平準化を図るため、計画的に施設の長寿命化工事を行います。

拡充 市民センター等の魅力向上事業

1,872 万円 （42 ページ）

南町田地域の行政サービスの向上を目指し、南町田駅前連絡所の機能を南町田グランベリーパーク駅周辺へ移転します。

拡充 新型コロナウイルスワクチン接種事業

13 億 596 万円 （43 ページ）

新型コロナウイルス感染症ワクチンの 4 回目接種を実施します。

拡充 HPV ワクチン接種事業

2 億 3,111 万円 （44 ページ）

HPV ワクチン接種の積極的勧奨の再開およびキャッチアップ接種を実施します。

新型コロナウイルス感染症対策事業（小・中学校）

9,028 万円 （45 ページ）

小・中学校における感染症対策及び児童生徒の学びの保障のため、必要な物品等を配備します。

拡充 学校給食における食材等物価上昇対応事業

5,752 万円 （46 ページ）

食材料の価格高騰に対して、これまでの学校給食の質を維持するため、食材調達の拡充を図ります。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件 名	中学校給食センター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
317		0	0	0	0	317

【事業の背景・目的】

2021 年 1 月の町田市学校給食問題協議会答申に基づき、成長期の中学生全員に出来るだけ早期に温かい給食を提供するため、「給食センター方式」による中学校の全員給食を導入します。

2022 年 3 月に策定した「まちだの中学校給食センター計画」に基づき、2025 年度までに町田忠生小山エリア、南エリア及び鶴川エリアにそれぞれ給食センターを整備します。

■まちだの中学校給食センターの目指す姿

中学生たちに美味しい給食を届けることはもちろんのこと、地域の幅広い世代が、食を通して健やかな暮らしを送ることに貢献できる、「食を通じた地域みんなの健康づくり拠点」となることを目指します。

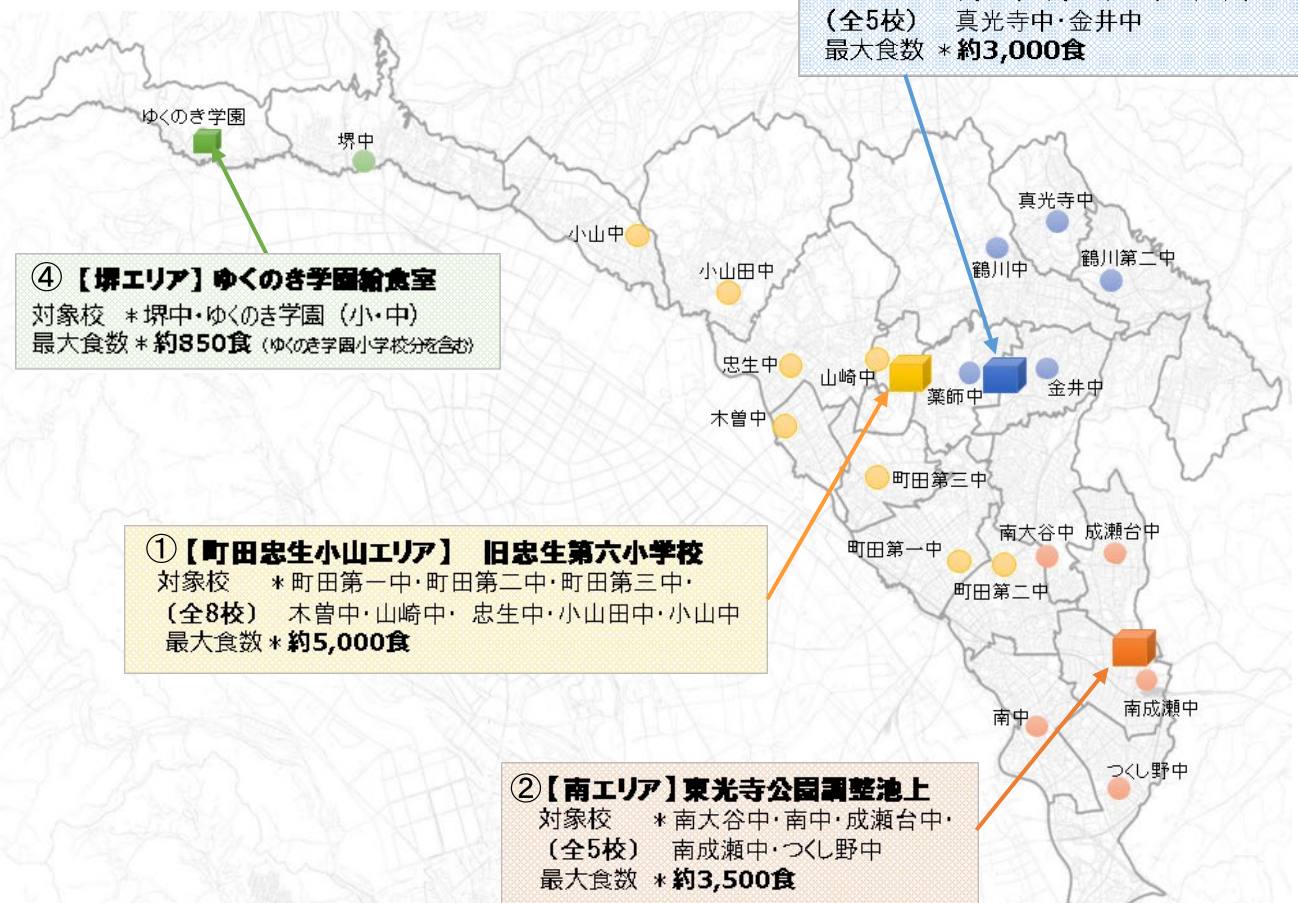
目指す姿① 魅力的で美味しい給食を中学生たちに届けるセンター

（美しく味良く、温もりを感じて四季を愉しむことのできる町田市ならではの学校給食を丁寧につくり届ける）

目指す姿② 地域とつながりあい、新しい価値を生み出しつづけるセンター

（食に関する学びや体験の提供、防災機能向上などに多面的に取り組み、地域の健康増進と地域経済の活性化を図る）

■給食センターの配置と規模



【事業の内容】

給食センターが安全かつ安定的に中学校給食を提供するとともに、食の健康づくり拠点として地域に根差し活躍するためには、民間事業者の確かな技術力とノウハウ、柔軟な発想や事業展開を活用した創意工夫あふれる魅力的な事業実施が不可欠であることから、PFI 手法及びリース方式による事業を実施します。

2022 年度は、給食センターの整備・運営を行う事業者の選定を行います。①町田忠生小山、②南エリアについては、PFI 法(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律)に基づいて事業者公募手続きを進めます。

エリア	①町田忠生小山	②南	③鶴川	④堺
事業手法	PFI 手法 (BTO 方式)	PFI 手法 (BTO 方式)	調理委託型 リース方式	ゆくのき学園給食室で 調理し、堺中に配送
事業期間	2023～2039 年度 (稼働後 15 年間)	2023～2039 年度 (稼働後 15 年間)	2022～2035 年度 (稼働後 11 年間)	

※PFI 手法…民間事業者が調達する資金で設計、施工を行い、その後の維持管理や運営もあわせて行う方式。

※BTO 方式(Build Transfer Operate)…民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う方式。

【スケジュール】

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
①町田 忠生小山	解体工事 事業者選定	設計	工事	2025 年度 1 学期～ 提供開始
②南	事業者選定	設計 調整池工事	工事	2025 年度 2 学期 ～提供開始
③鶴川	リース事業 者選定	設計	工事 調理事業 者選定	2024 年度 2 学期～提供開始
④堺		設計	工事	2024 年度 2 学期～提供開始

【事業費】

事業者選定委員謝礼	317 千円
町田忠生小山エリア・南エリア中学校給食センター整備運営事業(PFI 事業)	0 千円
(2022～2039 年度債務負担行為事業 総事業費 10,211,658 千円)	
鶴川エリア中学校給食センター整備事業(建物賃貸借事業)	0 千円
(2022～2035 年度債務負担行為事業 総事業費 1,712,544 千円)	

問合せ先	学校教育部 保健給食課長 押切	電話	724-2177
------	-----------------	----	----------

件 名	学童保育クラブ改修事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
14,179		3,000	3,000	0	0	8,179

【事業の背景・目的】

学童保育クラブを利用するすべての児童が、安全かつ安心して生活する環境を整えるため、「町田市5ヵ年計画 22-26」に基づき、学童保育クラブの環境改善を図ります。

【事業の内容】

児童の遊びや生活の場としてふさわしい良好な育成環境を確保します。主な改修内容は、施設の老朽化による建具や床の改修、高学年児童の受入れ開始に伴うトイレの男女別化や静養スペースの設置等です。

なお、町田第一小学校区及び町田第六小学校区学童保育クラブについては、2023年度の改修工事に向けて実施設計を行います。

小学校区	施設名称	設置場所	開設年	設置年数
①町三小	竹ん子学童保育クラブ	小学校校舎内	2000年	22年
②町一小	中央学童保育クラブ	小学校敷地内	1999年	23年
③町六小	高ヶ坂学童保育クラブ	小学校敷地内	1993年	29年

【スケジュール】

	2022年度										2023年度							
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
①町三小	工事内容調整				改修工事				使用開始									
②町一小	設計書作成	実施設計								工事契約			改修工事				使用開始	
③町六小	設計書作成	実施設計								工事契約			改修工事				使用開始	

【主な事業費】

改修工事費	①町三小	9,900千円
実施設計委託料	②町一小	1,000千円
	③町六小	2,500千円

【特定財源】

①子ども・子育て支援交付金（国 1/3）	3,000千円
①子ども・子育て支援交付金（都 1/3）	3,000千円



◆改修する町田第三小学校区の竹ん子学童保育クラブ

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 早出	電話	724-2182
------	-------------------	----	----------

件 名		スポーツをする場の環境整備事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
26,064		0	0	0	0	26,064
【事業の背景・目的】 2018 年度に策定した町田市スポーツ推進計画 19-28 に基づき、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、調整池等の活用を図り、スポーツができる公園等として整備し、効果的・効率的な施設管理及び運営を行います。						
【事業の内容】 小山上沼公園スポーツ施設、後田グラウンドスポーツ施設及び金森調整池上部スポーツ施設を、公の施設として活用するために必要な施設整備を行います。						
対象施設		予定地・面積				
①小山上沼公園 スポーツ施設		・小山ヶ丘 3 丁目 1-1 ・3,150 m ² （一次調整池を含まない）				
②後田グラウンド スポーツ施設		・本町田 2340-1 ・19,062 m ²				
③金森調整池上部 スポーツ施設		・金森 6 丁目 1407 ・約 15,000 m ²				
【スケジュール】						
対象施設	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	
①小山上沼公園 スポーツ施設	修正設計 整備工事	●4 月供用開始				
②後田グラウンド スポーツ施設	駐車場整備工事 法面基本設計 法面調査委託	●4 月供用開始 法面実施設計	法面整備工事			
③金森調整池上部 スポーツ施設	基本計画策定	基本設計	実施設計	整備工事	●4 月供用開始	
【主な事業費】						
①小山上沼公園スポーツ施設		③金森調整池上部スポーツ施設				
備品購入費	921 千円	基本計画策定委託料		5,014 千円		
②後田グラウンドスポーツ施設						
法面基本設計委託料	8,112 千円					
法面調査等委託料	7,401 千円					
備品購入費	2,026 千円					
問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新			電話	724-4397	

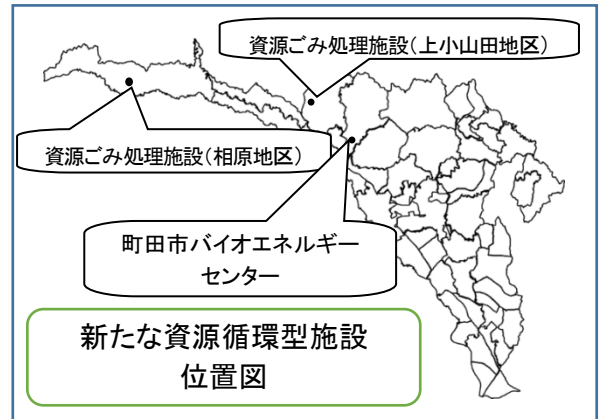
件 名		新たな図書館づくり推進事業（図書館サービスのデジタル化）							
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源			
12,036		0	12,036	0	0	0			
【事業の背景・目的】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、暮らし方に大きな変化がもたらされ、デジタル化が急速に進展しています。また一方では、デジタル社会の恩恵を受けられない方もおり、市の「e-まち実現プロジェクト」の主旨である市民の利便性の向上を一層促進するため、「デジタルデバインド（情報格差）」の解消に取り組む必要があります。 社会状況の変化に対応し、あらゆる市民が利用しやすい図書館をつくるため、2021 年度に実施した「デジタルを知る」視点での図書館サービス利用支援に続いて、2022 年度は、「デジタルを使う」「デジタルに慣れる」の視点で図書館サービスの利用を支援します。									
【事業の内容】 ①デジタルデバインドの解消（デジタルを使う） デジタル端末の基本的な操作などを相談できるデジタル端末操作支援員の配置、デジタル端末を持っていない方に向けたタブレット端末の館内貸出を、中央図書館で実施します。図書館という身近な拠点で、きめ細やかにデジタルデバインド解消の取組を行います。 ②電子書籍サービスの導入（デジタルに慣れる） デジタルサービスに親しみ、暮らしに合わせた図書館サービスを提供するため、図書館へ来館しなくても24 時間 365 日利用することができる電子書籍サービスを導入します。多くの方が日常的に利用する図書館サービスの一部をデジタル化し、市民がデジタルサービスに慣れていくことで、他のデジタルサービスの利用にもつなげます。									
【スケジュール】									
2022 年度	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
①デジタルデバインド の解消	運用検討・調達		タブレット端末の館内貸出開始						
	運用検討・契約		デジタル端末操作支援員の配置開始						
②電子書籍サービス の導入	事業者決定・構築		電子書籍サービスの開始						
【主な事業費】									
①タブレット端末導入委託料				515 千円					
①デジタル端末利用支援業務委託料				411 千円					
②電子書籍コンテンツ使用料				9,625 千円					
②電子書籍導入委託料				1,100 千円					
【特定財源】									
①②子ども・長寿・居場所区市町村包括補助金（都）				12,036 千円					
問合せ先		生涯学習部 図書館長 中嶋			電話		728-8220		

件 名	循環型施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
450,028		0	0	322,000	128,028	0

【事業の背景・目的】

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、老朽化したごみ処理施設に代わり、資源循環型施設を分散して配置します。

2022 年 1 月に稼働した町田市バイオエネルギーセンター（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）に加え、資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック、ビン、カン等）を市内 2 箇所（相原地区、上小山田地区）に整備します。



【事業の内容】

資源ごみ処理施設（相原地区、上小山田地区）について、地権者や関連事業との調整を図り、測量や用地取得に向けた手続き、法令手続の準備等を進めます。

【スケジュール】

年度		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
相原地区	施設				発注準備等		設計・施工	
	用地等	測量		都市計画決定等				
					用地折衝・取得等			

年度		2022	2023	2024	2025	2026	2027
上小山田地区	施設			発注準備等		設計・施工	
	用地等	測量	都市計画決定等				
		用地折衝・取得等					

【事業費】

物件等補償料（相原地区）	280,000 千円
用地購入費（相原地区）	150,000 千円
測量委託料（上小山田地区）	20,028 千円

【特定財源】

廃棄物処理施設整備事業債	322,000 千円
廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金	128,028 千円

問合せ先	環境資源部 循環型施設整備課長 田中	電話	724-4384
------	--------------------	----	----------

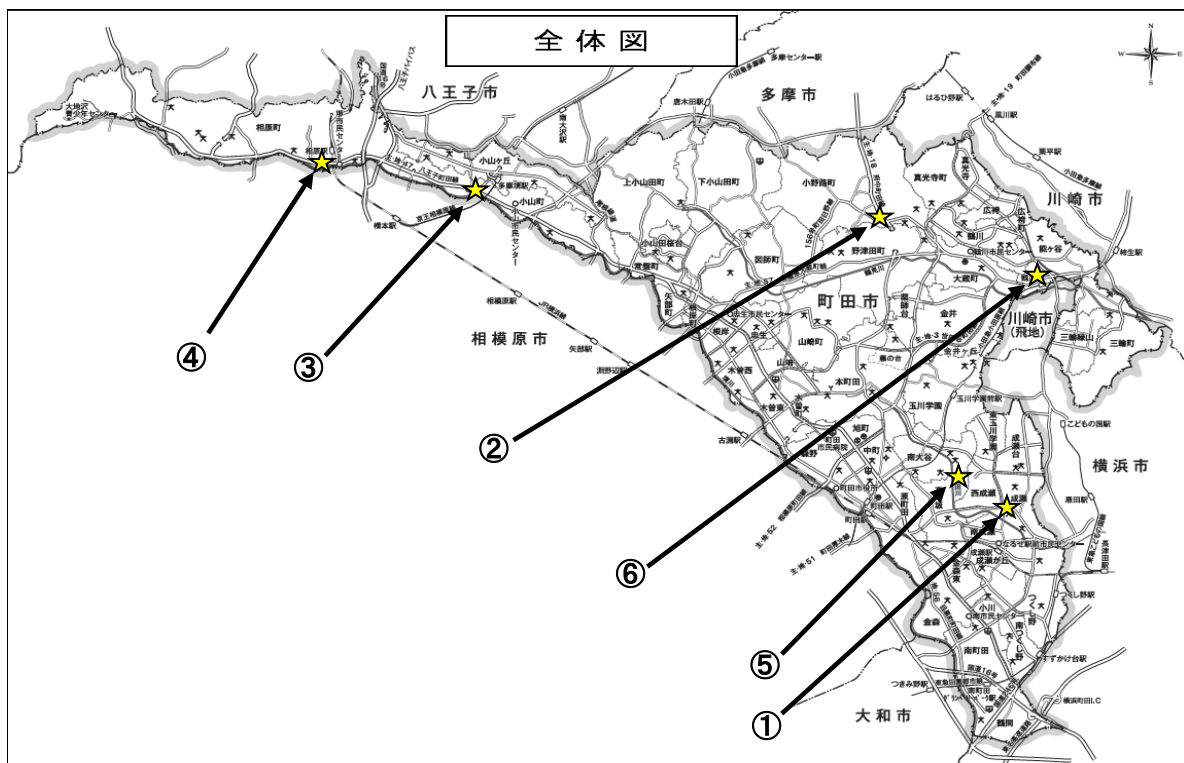
件 名		地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業																																									
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																																					
9,746		7,292	0	0	0	2,454																																					
【事業の背景・目的】 「8050問題」や「ダブルケア」など、市民の困りごとが複雑化・複合化しているなか、相談者が身近な地域の相談支援機関において、まとめて相談することができ、早期に複数の支援機関による連携した支援サービスを受けることができる体制づくりが課題となっています。 また、要支援者と支援機関をつなぐ役割は、これまでその一端を民生委員・児童委員が担ってきましたが、成り手不足が顕在化しています。このような中、ひきこもり等により必要な支援につなげることができない潜在的な要支援者を早期に支援につなげる体制づくりも課題となっています。 こうした困りごとを抱える方を早期に適切な相談支援機関につなげ、必要な支援を迅速に行うことができるよう、「町田市地域ホッとプラン」に基づき、行政の高齢者・障がい者・子ども・保健等の各分野が、これまで培ってきた専門性を活かしつつ分野横断的に連携する体制を構築します。また、NPO法人や地域活動団体等と協働した支援を行うなど、地域における相談支援体制の強化を図ります。 【事業の内容】 2023 年 1 月から相原地区及び小山地区の 2 地区をモデル地区とし、支援事業を実施します。 ①地域における包括的な相談支援の実施 複雑化・複合化した困りごとを抱えた方が、高齢者・障がい者・子ども・保健等の地域における各相談支援機関を移動することなく、1カ所でまとめて相談でき、各分野の専門機関から迅速、かつ、より効果的な支援を受けられる包括的な相談支援を実施します。 ②潜在的な相談者への継続したアウトリーチ支援の実施 新たに導入する「地域福祉コーディネーター」が、地域の潜在的な相談者の情報を収集し、本人と直接対面したり、継続的な関わりを持つことで、適切な支援機関につなげます。また、既存の公的支援では解決が図れない場合においても、地域福祉コーディネーターがNPO法人や地域活動団体等と協働し、一人ひとりの状況に応じた支援を行います。 【スケジュール】 <table><tr><th>年</th><th colspan="7">2022</th><th colspan="3">2023</th></tr><tr><th>月</th><th>～6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3～</th></tr><tr><td>内容</td><td colspan="7">各相談支援機関との事業の運用検討・調整</td><td colspan="3">モデル地区 （相原地区・小山地区） での事業実施・検証</td></tr></table> 【主な事業費】 ①多機関による支援会議委員謝礼 391 千円 ②地域福祉コーディネーター業務委託料 9,282 千円 【特定財源】 ①②生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（国 3/4） 7,292 千円 <table><tr><td>問合せ先</td><td>地域福祉部 福祉総務課長 深沢</td><td>電話</td><td>724-2133</td></tr></table>							年	2022							2023			月	～6	7	8	9	10	11	12	1	2	3～	内容	各相談支援機関との事業の運用検討・調整							モデル地区 （相原地区・小山地区） での事業実施・検証			問合せ先	地域福祉部 福祉総務課長 深沢	電話	724-2133
年	2022							2023																																			
月	～6	7	8	9	10	11	12	1	2	3～																																	
内容	各相談支援機関との事業の運用検討・調整							モデル地区 （相原地区・小山地区） での事業実施・検証																																			
問合せ先	地域福祉部 福祉総務課長 深沢	電話	724-2133																																								

件 名	都市計画道路築造事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
63,158		0	0	0	0	63,158

【事業の背景・目的】

円滑に移動できる道路網を実現するため、東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）で選定された道路や第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業に採択されている道路の整備を進めます。

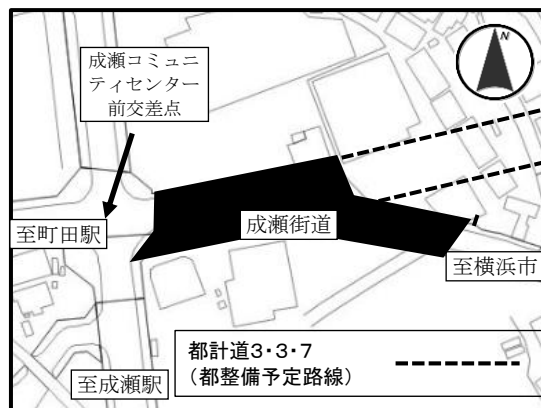
鶴川駅周辺再整備基本方針に基づき、鶴川駅北口広場及び鶴川駅南北自由通路の整備を進めます。



【事業の内容】

箇所番号	事業箇所	事業内容
①	都計道3・3・7(成瀬) 【成瀬街道】	【第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 都との連携協力事業で、成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を行います。 道路改築工事に向けて、道路詳細設計委託と地質調査委託を実施します。
②	都計道3・4・22(小野路) 【大蔵小野路線】	【第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 都との連携協力事業で、小野路交差点付近の整備を行います。 道路改築工事に向けて、道路詳細設計委託と地質調査委託を実施します。
③	都計道3・4・41(小山) 【多摩ニュータウン通り】	多摩ニュータウン通り延伸部の整備を行います。 河川管理用通路の改築に必要な擁壁の設置工事に係る地質調査委託等を実施します。
④	都計道3・4・49(相原町) 【相原南北通り】	相原町地内で八王子市から相模原市を結ぶ南北道路の整備を行います。 取得済み用地の防塵や閉鎖のための管理工事を実施いたします。
⑤	都計道3・4・34(南大谷) 【本町田金森線】 都計道3・4・9 【成瀬けやき通り】	南大谷交差点から市立成瀬うさぎ谷戸公園西側までの整備を行います。 事業認可の取得に向けて、路線・用地測量委託を実施します。
⑥	鶴川駅北口広場 鶴川駅南北自由通路	北口広場は2023年度の工事に向けて修正設計を実施します。南北自由通路は事業認可の取得に向け、関係機関との協議を行い事業費の設計照査委託を実施します。
問合せ先		道路部 道路整備課長 市川
		電話 724-1122

件 名		都市計画道路築造事業							
①都計道 3・3・7(成瀬)【成瀬街道】 2026 年度の使用開始を目標として、成瀬街道の成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。 道路改築工事に向けて、道路詳細設計委託と地質調査委託を実施します。 <table><tr><td>【事業費】</td><td>詳細設計委託料</td><td>5,193 千円</td></tr><tr><td></td><td>地質調査委託料</td><td>4,500 千円</td></tr></table>				【事業費】	詳細設計委託料	5,193 千円		地質調査委託料	4,500 千円
【事業費】	詳細設計委託料	5,193 千円							
	地質調査委託料	4,500 千円							
②都計道 3・4・22(小野路)【大蔵小野路線】 2026 年度の使用開始を目標として、鎌倉街道の小野路交差点付近の整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。 道路改築工事に向けて道路詳細設計委託と地質調査委託を実施します。 <table><tr><td>【事業費】</td><td>詳細設計委託料</td><td>7,793 千円</td></tr><tr><td></td><td>地質調査委託料</td><td>5,400 千円</td></tr></table>				【事業費】	詳細設計委託料	7,793 千円		地質調査委託料	5,400 千円
【事業費】	詳細設計委託料	7,793 千円							
	地質調査委託料	5,400 千円							
③都計道 3・4・41(小山)【多摩ニュータウン通り】 相模原市方面のアクセス向上及び町田街道の渋滞を解消を目的として、道路及び橋梁の整備を行います。 河川管理用通路の改築に必要な擁壁の設置工事に係る地質調査委託等を実施します。 <table><tr><td>【主な事業費】</td><td>地質調査委託料</td><td>4,500 千円</td></tr></table>				【主な事業費】	地質調査委託料	4,500 千円			
【主な事業費】	地質調査委託料	4,500 千円							

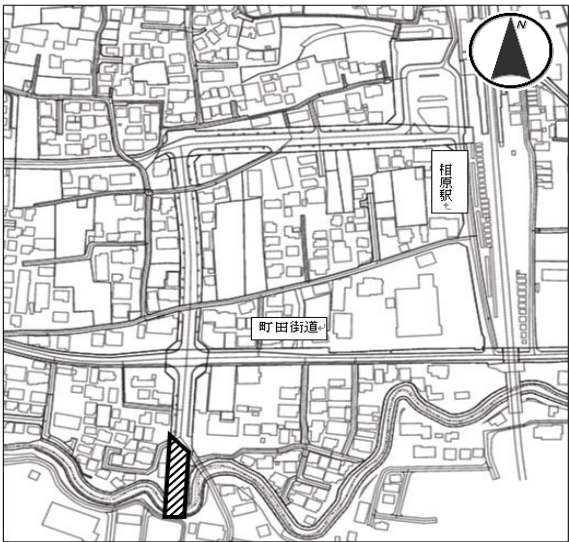


④都計道 3・4・49(相原町)【相原南北通り】

八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築します。また、相原駅西口広場と相模原市の都市計画道路を接続することにより、周辺道路の渋滞を解消します。

取得済用地の防塵や閉鎖のための管理工事を実施します。

【事業費】 管理工事費 2,214 千円



⑤都計道 3・4・34(南大谷)【本町田金森線】

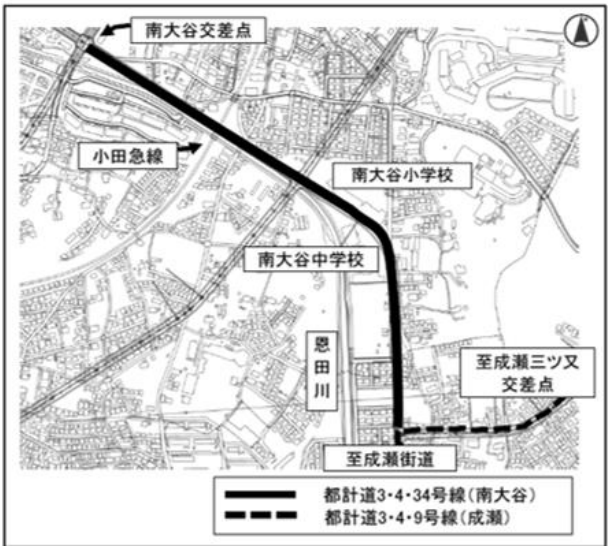
⑤都計道 3・4・9(成瀬)【成瀬けやき通り】

南大谷交差点から小田急線をアンダーパスし、南大谷小・中学校の間を抜け、市立成瀬うさぎ谷戸公園西側までを整備します。

本路線を整備することにより、成瀬三ツ又交差点から南大谷交差点までの既存道路の慢性化した渋滞を解消します。

事業認可の取得に向けて路線・用地測量委託を実施します。

【事業費】 測量委託料 5,800 千円

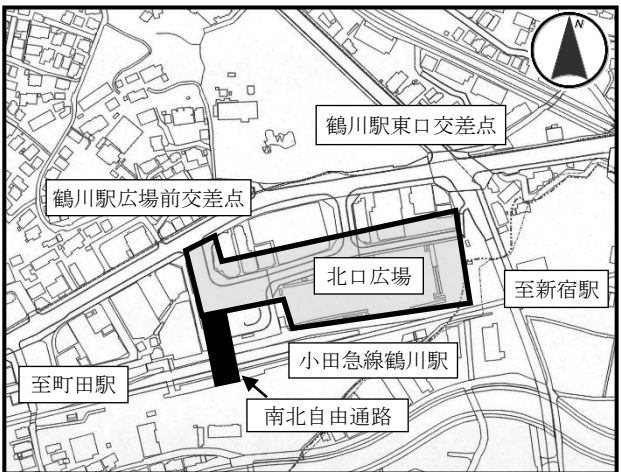


⑥鶴川駅北口広場・鶴川駅南北自由通路

(「鶴川駅周辺街づくり事業(34 ページ)」から再掲)

都市基盤整備により駅前としての土地利用の増進や都市防災機能の向上等を進め、交通利便と生活環境等の改善を図ります。また、南北自由通路を整備し、駅南北の連絡性の向上を図り、交通結節点としての機能を強化します。

北口広場は 2023 年度の工事に向けて修正設計を実施します。南北自由通路は事業認可取得に向け、関係機関との協議を行い、併せて、照査委託を実施します。



【主な事業費】 南北自由通路事業費照査委託料 22,000 千円
 北口広場詳細設計(修正)委託料 3,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名	芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
67,284		0	29,700	0	0	37,584

【事業の背景・目的】

町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する場「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム」の実現に向けて、公園の価値と資源を活かし、「子ども」と「体験」という新しい視点の取組みも含めて、魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園やまちなかと一体となって展開される状態を目指します。

芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館、国際版画美術館の一体的な整備を行い、（仮称）公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟の整備によって、公園全体に美術活動の展開拠点となる「美術エリア」を形成します。

【事業の内容】

①（仮称）公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟整備

公園のインフォメーションや喫茶、工房などの機能をもつ「（仮称）公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟」を、公園内の未利用地を活用して整備するため、建物の基本・実施設計と地盤調査を行います。工房機能については、現在の国際版画美術館の版画工房とアトリエの機能を縮小することなく、版画、ガラス、陶芸の体験から、版画の本格的な制作までを対象とし、誰でも利用できる施設とします。子どもから大人まで「誰でも」「気軽に」「多様な」、アート・創作活動への興味・関心のきっかけを育む場となることを目指しています。

②公園エレベーター整備

地域住民とのこれまでの協議を踏まえ、公園内の高低差の解消を目指して、自転車も乗り入れることができる公園エレベーターの位置及び仕様を検討する概略設計と測量を実施します。

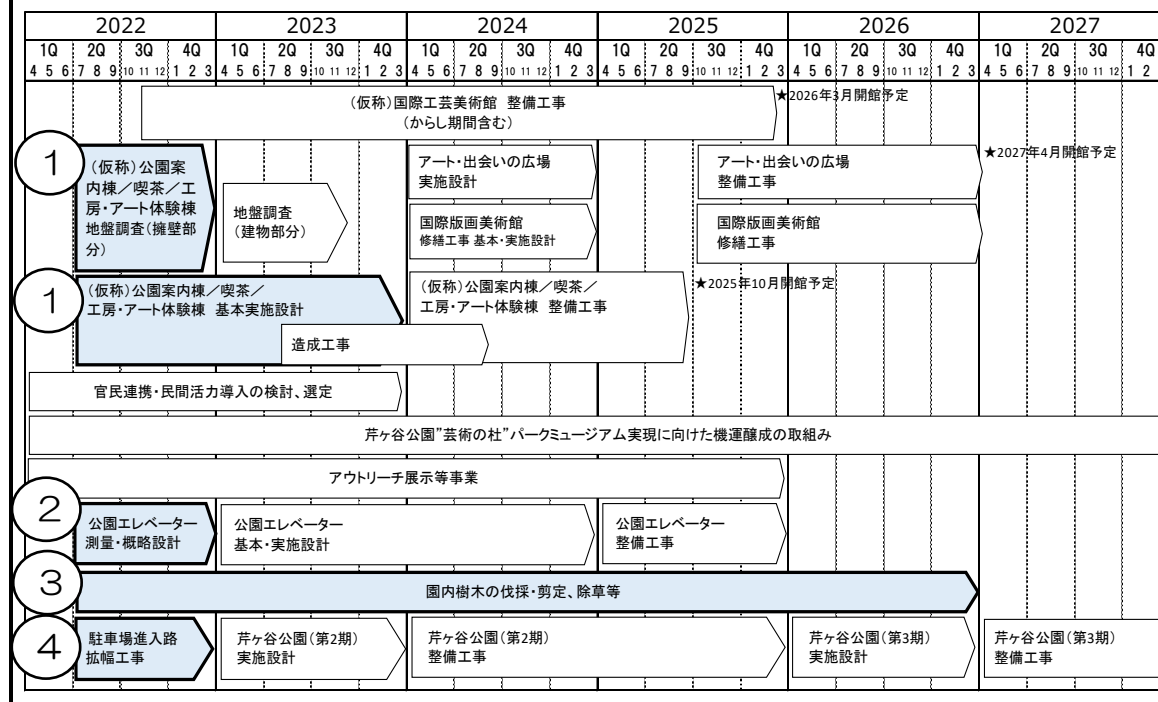
③芹ヶ谷公園魅力向上推進事業費

樹林の適切な伐採・剪定及び除草等を行い、林相を整え、公園内の安全性を確保するとともに芹ヶ谷公園のさらなる魅力向上を目指します。

④駐車場進入路拡幅工事

公園利用者の利便性と周辺環境の向上を目指し、冒険遊び場前駐車場への進入路拡幅工事を実施します。

【スケジュール】



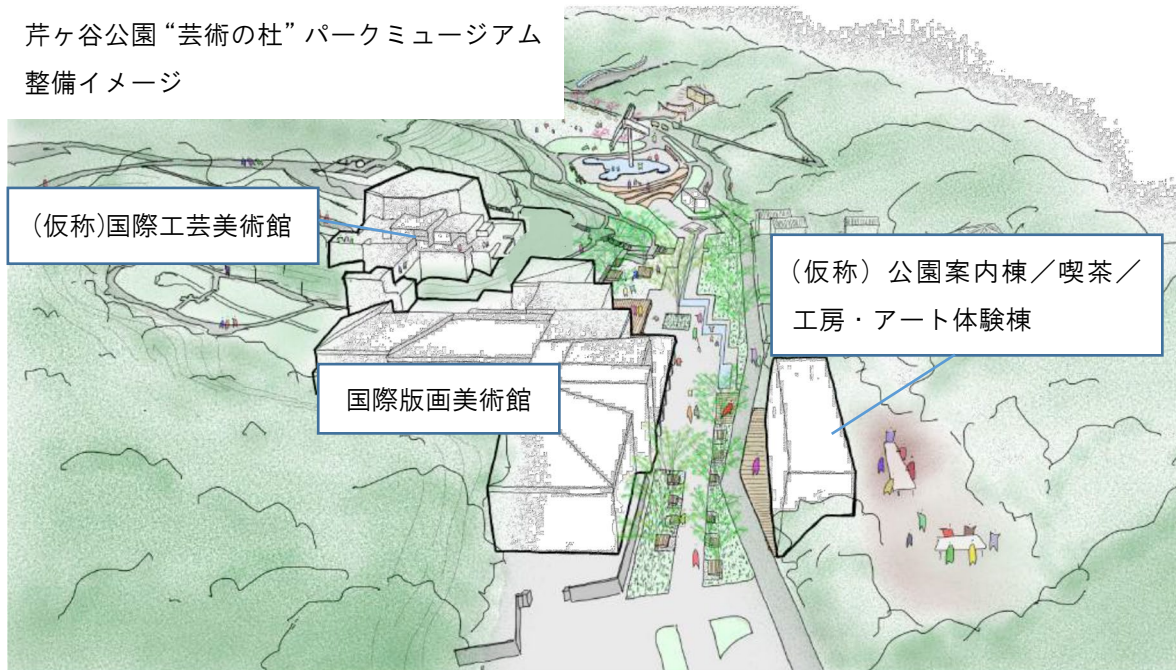
【事業費】

①(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟 基本・実施設計業務委託料 (2022～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 61,402 千円)	18,420 千円
①(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟 擁壁設計地盤調査委託料	9,297 千円
①(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟 擁壁基本・実施設計業務委託料 (2022～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 6,672 千円)	2,001 千円
②公園エレベーター 測量委託料	2,142 千円
②公園エレベーター 概略設計委託料	1,089 千円
③芹ヶ谷公園樹木適正配置委託料	21,000 千円
④駐車場進入路拡幅工事費(第1期整備区域部分)	13,335 千円

【特定財源】

①子ども・長寿・居場所区市町村包括補助事業(都)	29,700 千円
--------------------------	-----------

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム
整備イメージ



問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課パークミュージアム担当課長 戸田	電話	724-2184
	都市づくり部 公園緑地課長 新		724-4397

件 名	多摩都市モノレール延伸事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,000		0	0	0	0	8,000

【事業の背景・目的】

2021 年 12 月に延伸ルートが選定されたことを受けて、多摩都市モノレール町田方面延伸の早期事業化に向けて、モノレール沿線のまちづくりを深度化し、モノレールの更なる需要の創出を目指します。

【事業の内容】

モノレール沿線まちづくり構想策定に向けた基礎調査を行います。

【スケジュール】

2022年度												2023年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
			モノレール沿線基礎調査																				
			多摩都市モノレール町田方面延伸 沿線まちづくり検討会															構 想 策 定					

構
想
策
定

【事業費】

モノレール沿線基礎調査支援委託料 8,000 千円



問合せ先	都市づくり部 都市政策課多摩都市モノレール推進室長 柘植野	電話	724-4077
------	-------------------------------	----	----------

件 名	忠生 579 号線・忠生 630 号線整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
42,156		0	13,075	10,000	0	19,081

【事業の背景・目的】

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路を補完する準幹線道路を整備します。

① 忠生 579 号線

北部丘陵地域に位置する小山田地区の交通利便性、安全性及び生活環境の向上を図るため整備します。

② 忠生 630 号線

公共交通機関の充実、交通量増加への対応及び交通安全性の向上などを図るため整備します。

【事業の内容】

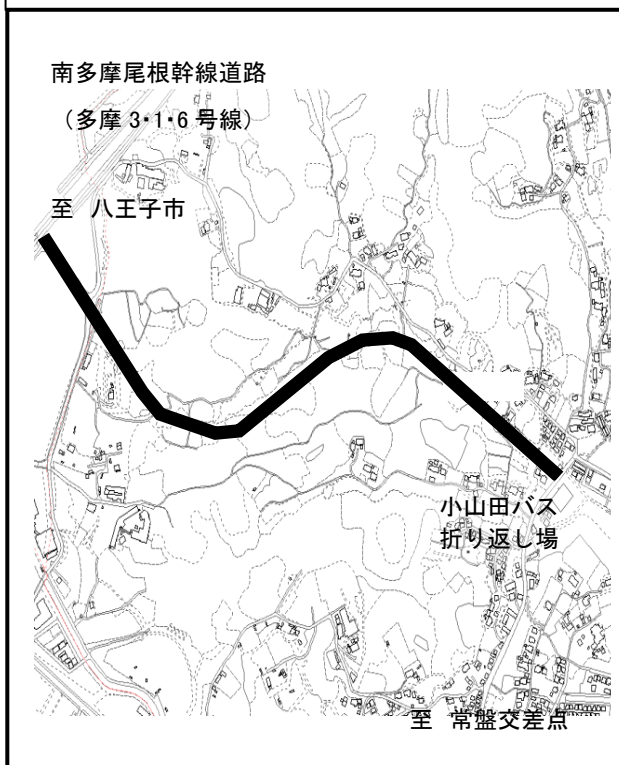
① 事業延長 約 1,300m

・調査測量を実施します。

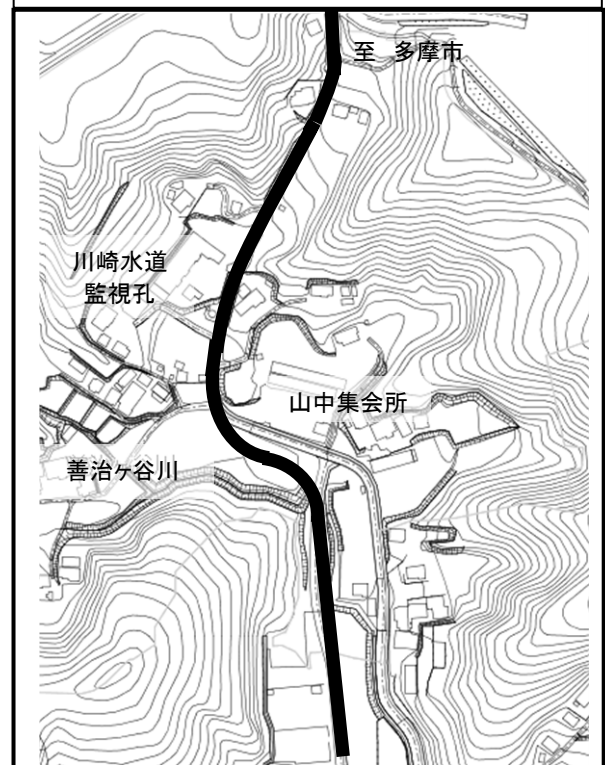
② 事業延長 約 650m

・用地取得を進めます。

忠生 579 号線 案内図



忠生 630 号線 案内図



【主な事業費】

① 忠生 579 号線測量委託料	4,000 千円
② 忠生 630 号線用地購入費	18,795 千円
物件等補償料	14,000 千円

【特定財源】

② 道路橋梁費補助金(都 1/2)	13,075 千円
② 道路整備事業債	10,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
107,367		0	△19,000	△51,000	0	177,367

【事業の背景・目的】

鶴川駅周辺は、2016 年度に策定した「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、道路や駅前広場などの再編により、安全で便利な交通結節機能を向上させ、商業施設や文化交流施設、住宅などが集積した賑わいある都市拠点を目指すこととしています。2022 年度は、北口広場、南北自由通路、土地区画整理事業等の都市基盤整備を推進します。

【事業の内容】

- ①北口広場整備事業（2020 年度事業認可取得）は、2023 年度工事に向けた修正設計を行います。
- ②南北自由通路整備事業は、事業認可取得に向け、関係機関との協議を行い、併せて、工事費用の圧縮を図るため、照査委託を行います。
- ③南口アクセス道路整備事業は、整備に向けた詳細設計等を行います。
- ④鶴川1号踏切整備事業は、拡幅工事を行います。

※工事個所に通信管等が埋設されていたことから、切り回しを行う必要が生じたため、事業費が増額し、工期についても、22 ヶ月から 27 ヶ月に延長する必要が生じたため、債務負担行為の期間及び限度額を変更します。

【スケジュール】

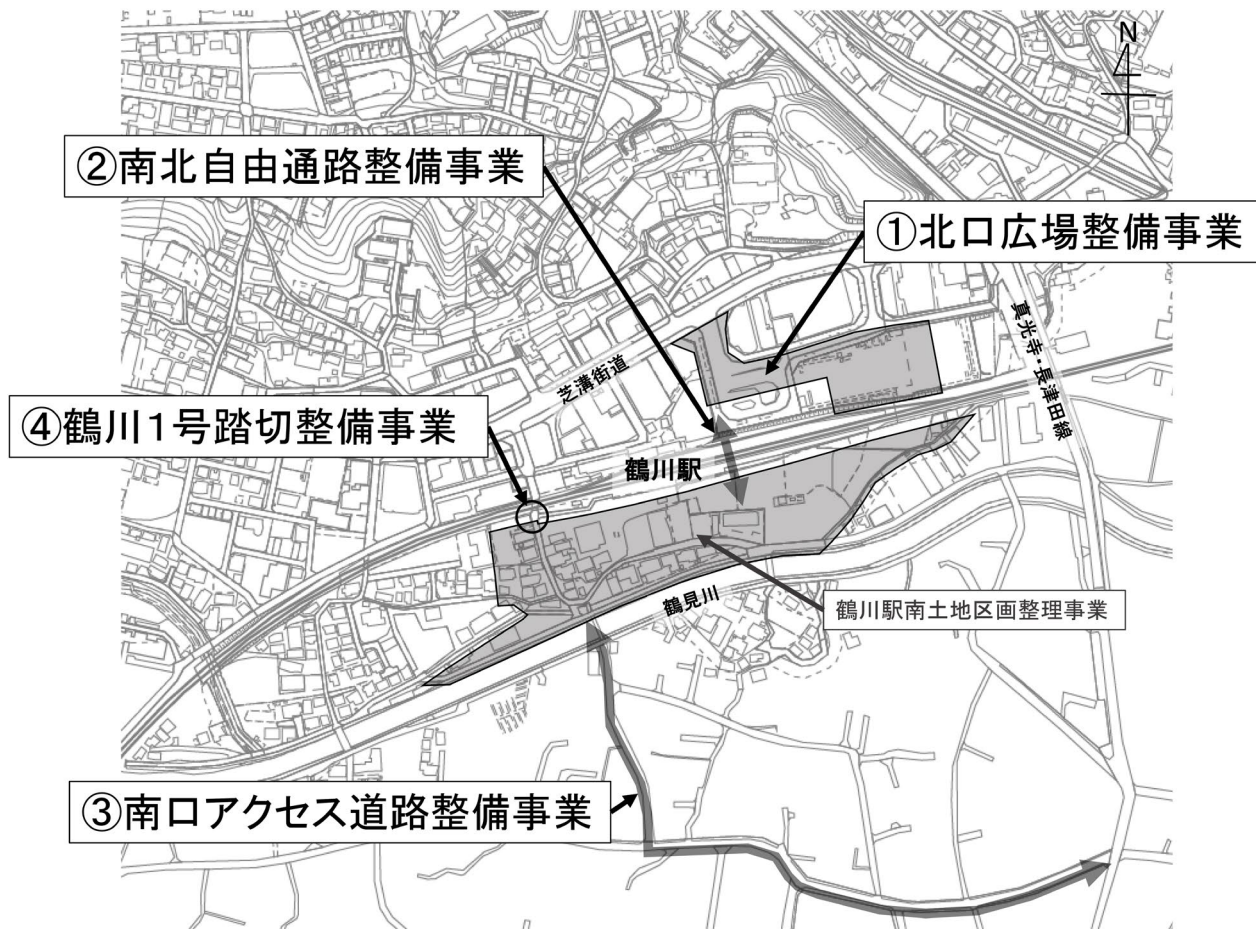
	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度以降
①北口広場整備事業		整備工事（2024 年度仮使用開始）※1				
		修正設計				
②南北自由通路整備事業	実施設計	事業認可取得	整備工事			
		照査委託	用地取得			
③南口アクセス道路整備事業	関係者協議	用地測量※2	用地取得	整備工事		
		詳細設計等				
④鶴川1号踏切整備事業	詳細設計	拡幅工事				

※1 2022 年度整備工事費は当初予算に計上。 ※2 用地測量費は当初予算に計上

【主な事業費】

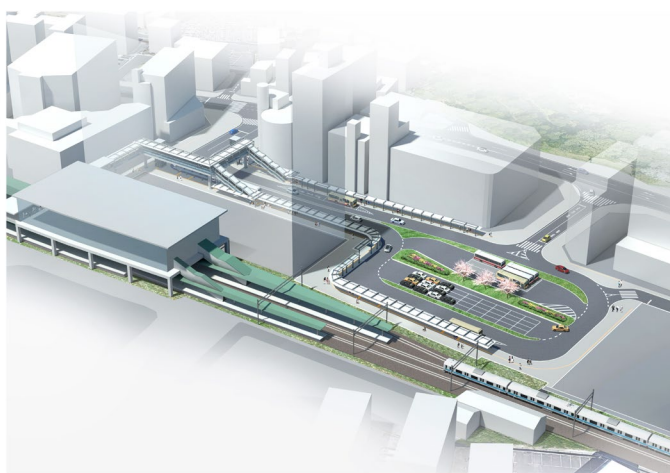
①北口広場詳細設計（修正）委託料	3,000 千円
②南北自由通路事業費照査委託料	22,000 千円
③南口アクセス道路代替地用地購入費	96,747 千円
③南口アクセス道路詳細設計委託料	32,394 千円
③南口アクセス道路物件調査委託料	11,006 千円
③南口アクセス道路地質調査委託料	9,795 千円
④鶴川1号踏切整備負担金	△76,000 千円
（2022～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 395,373 千円）	

【事業実施場所】



【整備イメージ図】

北口広場整備事業



鶴川駅南土地区画整理事業



問合せ先

都市づくり部 地区街づくり課長 荒木
道路部 道路整備課長 市川

電話

724-4214
724-1122

件 名	相原駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
528,424		0	230,762	134,000	0	163,662

【事業の背景・目的】

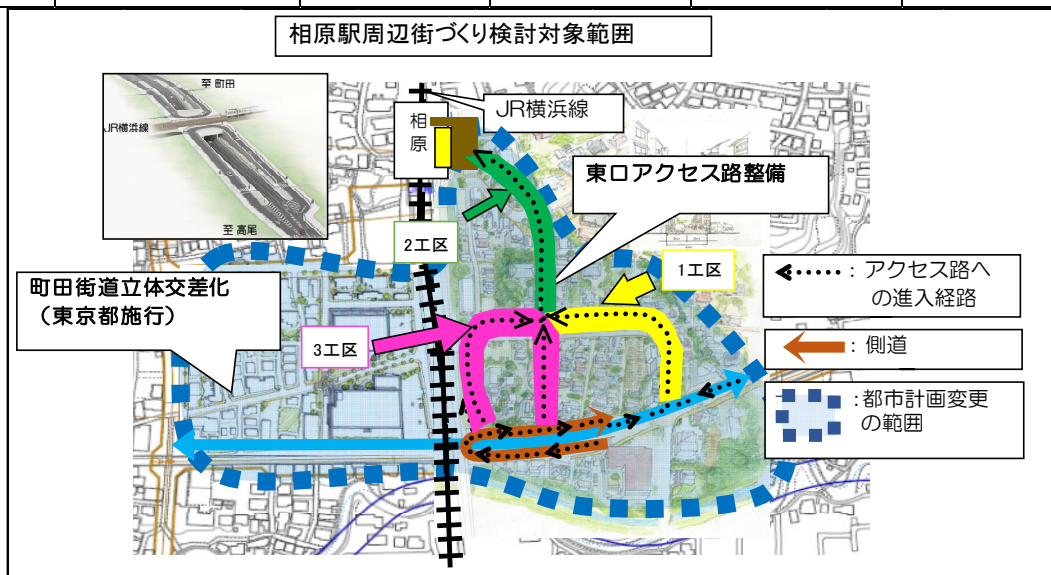
相原駅東口地区は、「町田市相原駅東口地区まちづくり構想」(2020 年策定)に基づき、東口地区としての拠点とにぎわいの形成、交通ネットワークの形成、良好な居住環境の形成を目指し、2021 年 1 月に地区計画の決定及び用途地域等の変更を行いました。引き続き、基盤整備に併せた土地利用を促進し、生活に便利で賑わいのあるまちとするため、駅前広場、東口アクセス路の整備を行います。

【事業の内容】

- ① 駅東口の駅前広場用地を取得するとともに、駅前広場に接する地権者や関係者と駅前街区の再編整備に向けた検討を進めます。
- ② 町田街道から駅東口への新たなアクセス路の整備(用地取得等)を進めます。

【スケジュール】

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年	2026 年度以降
①東口駅前街区	駅前広場用地取得	駅前広場予備設計	駅前広場詳細設計	駅前広場整備	
②東口アクセス路	駅前周辺街区再編検討			駅前周辺街区再編整備(民間)	
	用地取得(1 工区)	整備工事(1 工区)			
		用地取得(2・3 工区)		整備工事(2・3 工区)	



【主な事業費】

①東口駅前広場用地購入費	221,629 千円
①東口駅前広場物件等補償料	25,000 千円
①街づくり支援委託料	2,992 千円
②アクセス路物件等補償料	192,100 千円
②アクセス路用地購入費	82,887 千円

【特定財源】

①道路橋梁費補助金(都 1/2)	110,814 千円
②道路橋梁費補助金(都 1/2)	119,948 千円
②道路整備事業費	134,000 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木	電話	724-4214
	道路部 道路整備課長 市川		724-1122

件 名	香山緑地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
138,260		0	0	103,000	0	35,260

【事業の背景・目的】

香山緑地を、鶴川駅周辺の市街地に残された貴重な緑として保全し、都市景観の向上及び町田市の観光拠点の一つとするため、池泉回遊式庭園と存在感のある書院造の建物を活かした緑地として整備します。

周辺観光施設と連携を図り、施設の魅力的な運営を行うことで、鶴川地域への来訪者の増加と、地域住民の交流の場を提供することを目指します。



香山緑地

【事業の内容】

既存建物の耐震・改修工事を行います。

【スケジュール】

		2022 年度	2023 年度	2024 年度
① 管理・運営			事業者選定 ★公募	運営準備
				●開園（管理運営開始）
② 整備	建物		既存建物耐震・改修工事	
	緑地			庭園工事

（凡例）：--- 事業者主体

【事業費】

②既存建物耐震・改修工事費

137,383 千円

（2022～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 343,460 千円）

②工事監理委託料

0 千円

（2022～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 12,209 千円）

②実施設計委託料

877 千円

【特定財源】

都市計画事業債

103,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件 名		(仮称) 蓮田緑地整備事業																																				
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																																
31,500		0	0	13,000	0	18,500																																
【事業の背景・目的】 町田市バイオエネルギーセンターの建設に伴い、施設周辺の魅力向上や環境整備を推進するため、2018 年度から 2019 年度に策定した「(仮称)蓮田緑地基本計画」に基づき、小山田神社周辺に広がる蓮の魅力を活かした蓮田緑地を整備します。 【事業の内容】 蓮田緑地の実施設計を行います。 また、2023 年度にプレオープンするため、先行して蓮の開花時期に開放する駐車場の整備工事を行います。  【スケジュール】 <table><tr><th></th><th>2022 年度</th><th>2023 年度</th><th>2024 年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>管理・運営</td><td></td><td>★プレオープン</td><td></td><td>●開園</td></tr><tr><td>用地取得</td><td colspan="3">用地取得</td><td></td></tr><tr><td>緑地整備</td><td>実施設計 駐車場整備工事</td><td colspan="2">整備工事</td><td></td></tr></table> 【事業費】 <table><tr><td>実施設計業務委託料</td><td>17,400 千円</td><td>【特定財源】</td><td></td></tr><tr><td>駐車場整備工事費</td><td>14,100 千円</td><td>都市計画事業債</td><td>13,000 千円</td></tr></table> 【問合せ先】 <table><tr><td>問合せ先</td><td>都市づくり部 公園緑地課長 新</td><td>電話</td><td>724-4397</td></tr></table>								2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	管理・運営		★プレオープン		●開園	用地取得	用地取得				緑地整備	実施設計 駐車場整備工事	整備工事			実施設計業務委託料	17,400 千円	【特定財源】		駐車場整備工事費	14,100 千円	都市計画事業債	13,000 千円	問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度																																		
管理・運営		★プレオープン		●開園																																		
用地取得	用地取得																																					
緑地整備	実施設計 駐車場整備工事	整備工事																																				
実施設計業務委託料	17,400 千円	【特定財源】																																				
駐車場整備工事費	14,100 千円	都市計画事業債	13,000 千円																																			
問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397																																			

件 名	(仮称) 大戸広場整備事業					
予算額 (単位: 千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
25,013		0	0	0	5,253	19,760

【事業の背景・目的】

相原地区の資源ごみ処理施設整備に伴う周辺の環境整備を促進するため、(仮称)大戸広場基本計画に基づき、既存の緑地を活かしながら、地域交流を深める憩いの場となる(仮称)大戸広場を整備します。

【事業の内容】

(仮称)大戸広場の整備に係る基本設計、地形測量等を行います。

【スケジュール】

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
(仮称)大戸 広場整備	基本設計 地形測量業務	実施設計 地質調査 用地取得	整備工事	建築施設 設計業務	●開園



(仮称) 大戸広場イメージ図

【事業費】

基本設計業務委託料	15,260 千円
地形測量業務委託料	4,500 千円
物件等補償料	5,253 千円

【特定財源】

緑地保全基金繰入金	5,253 千円
-----------	----------

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件 名		無電柱化推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
59,200		0	56,500	0	0	2,700

【事業の背景・目的】

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、既設道路において、無電柱化の整備を推進します。

- 町田 835 号線(原町田中央通り)は、市民や来街者の通行が多く、景観向上、商業活性化が期待される路線です。
- 町田 623 号線の沿道には、2017 年 11 月に町田消防署が移転し、防災機能の更なる向上を図る上で重要な路線です。
- 町田 37 号線(文学館通り)は、中心市街地から芹が谷公園へのアクセス路の1つとなっており、町田 835 号線と同様に商業活性化が期待される路線です。

【事業の内容】

- 事業延長 約 280m
・詳細設計(道路・電線共同溝)を実施します。
- 事業延長 約 900m
・詳細設計(道路・電線共同溝)を実施します。
- 事業延長 約 280m
・予備設計(電線共同溝)等を実施します。

①町田 835 号線(原町田中央通り)
③町田 37 号線(文学館通り)案内図

②町田 623 号線(消防署前)案内図

【主な事業費】

①詳細設計委託料(道路・電線共同溝)	15,500 千円
②詳細設計修正委託料(道路・電線共同溝)	900 千円
③予備設計委託料(電線共同溝)	8,500 千円

【主な特定財源】

①③無電柱化チャレンジ支援事業補助金(都 10/10)	24,000 千円
-----------------------------	-----------

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名	公共施設等維持保全事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
221,378		8,915	24,631	62,000	0	125,832

【事業の背景・目的】

町田市の公共施設は、その半数以上が 30 年以上経過しており、老朽化した施設の安全性を確保し、快適に使用できるよう維持保全する必要があります。

2018 年度に策定した町田市公共施設再編計画では、過去 4 年間(2013～2016 年度)で市が支出した建築物の維持管理費用は、1 年間に平均すると事業費で約 54 億円でしたが、今ある施設をこのまま維持した場合、2018～2055 年度までの 38 年間では、1 年間で事業費を約 89 億円要し、仮に現在と同程度の維持管理費用を今後も捻出できたとしても、単年度あたり約 35 億円もの維持管理費用が不足すると試算しています。

町田市では多くの施設が築後 20 年～30 年を越え、大規模改修が必要な時期を迎えています。このため、維持していく建物については施設建築年数や施設劣化状況をふまえ計画的に改修を行い、施設の安全性の確保や、財政負担の平準化を図ります。

【主な事業の内容】

1 市有建築物全般

<健康福社会館(1989 年築)>

老朽化が進んでいる外壁及び建具を改修します。工事については以下の期間を予定しています。なお、全面的な休館は行いませんが、工事の進捗状況に応じて利用に制限がかかります。

工事予定期間 2022 年 8 月～2023 年 3 月

【事業費】	改修工事費	37,716 千円
	工事監理委託料	2,929 千円



<健康福社会館>

<金森保育園(1998 年築)>

老朽化が進んでいるバルコニー床等を改修します。工事は以下の期間を予定しています。なお、工事に伴う休園はありません。

工事予定期間 2022 年 11 月～2023 年 2 月

【事業費】	改修工事費	7,913 千円
-------	-------	----------



<金森保育園>

問合せ先	財務部 営繕課長 原田	電話	724-1293
------	-------------	----	----------

2 道路・橋梁

安全で快適に通行できるよう、道路の舗装補修工事等を行います。老朽化した橋梁やペデストリアンデッキの点検や補修工事を計画的に行い、施設の長寿命化を図ります。

【主な事業費】	補修工事費(舗装補修工事費)	88,306 千円
	機器保守点検委託料(橋梁点検)	33,671 千円
【主な特定財源】	道路メンテナンス事業費補助金	8,415 千円
	(国 5.5/10)	
	道路橋梁費補助金	24,631 千円
	(都 3/10、2.25/10)	



<町田 439 号線>

問合せ先	道路部 道路維持課長 林田	電話	724-1121
------	---------------	----	----------

件 名		市民センター等の魅力向上事業																																																					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																																																	
18,716		0	0	0	0	18,716																																																	
【事業の背景・目的】 市民センター等の行政窓口は、地域で気軽に相談できる場所であることが求められています。また、市民センター等の集会施設は、より使いやすく、多様な利用が可能な施設になることが求められています。 これらを受け 2021 年 3 月に、市民センター等が「身近な行政窓口」となるとともに、「地域コミュニティの拠点」となっていくために、「町田市市民センター等の未来ビジョン」を策定しました。今後、このビジョンに基づく取り組みを展開し、市民センター等の「サービス・利便性」「ソフト・魅力」「地域・コミュニティ」「コスト・民間協働」の 4 つのチャレンジを推進します。 【事業の内容】 ①「サービス・利便性」をチャレンジ 南町田地域の市民サービスの向上を目指し、マイナンバーカードを利用して住民票等の証明書が取得できるキオスク端末を南町田グランベリーパーク駅至近に設置します。なお、南町田駅前連絡所は 2023 年 4 月までに機能を南町田グランベリーパーク駅周辺へ移転し、閉所します。 ②「ソフト・魅力」をチャレンジ、「地域・コミュニティ」への支援をチャレンジ モデル地域を対象に、地域で活動する市民・団体・事業者と連携した市民ワークショップを開催します。また、市民センター等に人が集まり、施設をより有効に活用する仕組みを模索するため、市民センター等の魅力向上イベントを実施します。魅力向上イベントは、市民ニーズに合った収益性のあるイベント等を実施し、今後、他の市民センター等でも展開していきます。 【スケジュール】 <table><tr><th>年度</th><th colspan="10">2022</th></tr><tr><th>月</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th></tr><tr><td>①「サービス・利便性」をチャレンジ</td><td></td><td></td><td></td><td>●キオスク端末設置</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">南町田駅前連絡所撤去工事</td></tr><tr><td>②「ソフト・魅力」をチャレンジ、「地域・コミュニティ」への支援をチャレンジ</td><td colspan="3">市民ワークショップ、魅力向上イベント準備</td><td colspan="2">イベント実施</td><td colspan="4">効果検証</td></tr></table> 【主な事業費】 <table><tr><td>①南町田駅前連絡所撤去工事費</td><td>8,998 千円</td></tr><tr><td>①キオスク端末保守点検委託料</td><td>1,056 千円</td></tr><tr><td>①キオスク端末賃貸借料</td><td>734 千円</td></tr><tr><td>②魅力向上イベント実施委託料</td><td>7,857 千円</td></tr></table>							年度	2022										月	7	8	9	10	11	12	1	2	3	①「サービス・利便性」をチャレンジ				●キオスク端末設置				南町田駅前連絡所撤去工事		②「ソフト・魅力」をチャレンジ、「地域・コミュニティ」への支援をチャレンジ	市民ワークショップ、魅力向上イベント準備			イベント実施		効果検証				①南町田駅前連絡所撤去工事費	8,998 千円	①キオスク端末保守点検委託料	1,056 千円	①キオスク端末賃貸借料	734 千円	②魅力向上イベント実施委託料	7,857 千円
年度	2022																																																						
月	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																														
①「サービス・利便性」をチャレンジ				●キオスク端末設置				南町田駅前連絡所撤去工事																																															
②「ソフト・魅力」をチャレンジ、「地域・コミュニティ」への支援をチャレンジ	市民ワークショップ、魅力向上イベント準備			イベント実施		効果検証																																																	
①南町田駅前連絡所撤去工事費	8,998 千円																																																						
①キオスク端末保守点検委託料	1,056 千円																																																						
①キオスク端末賃貸借料	734 千円																																																						
②魅力向上イベント実施委託料	7,857 千円																																																						
問合せ先	市民部 市民総務課長 中村 市民部 南市民センター長 櫻井			電話	724-4346 795-3165																																																		

件 名		新型コロナウイルスワクチン接種事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,305,955		1,305,842	0	0	113	0
【事業の背景・目的】 新型コロナウイルスワクチン接種の追加接種(4 回目)について、4 月 28 日に国から実施方針が示されたことを受け、町田市においても、国の方針に基づいて 4 回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施します。						
【事業の内容】 3 回目接種の完了から 5 か月が経過した 60 歳以上の方及び基礎疾患等を有する 18 歳以上 60 歳未満の方を対象とし、接種を進めていきます。 なお、予防接種法上の事業実施期間は 2022 年 9 月末までとされています。このため、9 月末までに 4 回目の接種対象となる方が接種できるよう準備を進めます。						
接種場所		個別接種会場(診療所・病院)と集団接種会場で接種				
接種回数		1 回				
自己負担額		無料				
周知方法		市HP、広報まちだ等				
【スケジュール】 60 歳以上の対象者には、5 月 27 日(金)から順次、接種券を発送します。3 回目接種完了後、5 か月が経過する 2 週間前までに接種券を発送します。 基礎疾患のある方等は、市 HP 専用フォーム又は電話でお申し込みをいただいた後、接種券を発送します。						
【主な事業費】 事業・業務委託料(接種体制確保費用) 551,599 千円 事業・業務委託料(集団接種 会場設営) 332,016 千円 事業・業務委託料(集団接種 医療従事者) 114,719 千円 予防接種委託料(個別接種・時間外・休日) 204,391 千円 作成委託料(接種券・予診票等作成委託) 64,160 千円						
【特定財源】 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金(国 10/10) 1,078,651 千円 新型コロナウイルスワクチン接種等負担金(国 10/10) 227,191 千円 予防接種費他市負担金 113 千円						
問合せ先		保健所 臨時接種担当課長 石川			電話	785-4199

件 名		H P V ワ ク チ ン 接 種 事 業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
231,113		0	0	0	0	231,113

【事業の背景・目的】

ヒトパピローマウイルス（HPV）は感染すると子宮頸がんを発症させることがあります。感染を防ぐため、HPV ワクチンは定期接種の対象となっていますが、2013 年 6 月から積極的勧奨を差し控えていました。しかし、2021 年 11 月の厚生科学審議会において「積極的な勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされたため、2022 年 4 月から積極的勧奨を再開しました。

また、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃してしまった方について 2022 年 4 月 1 日から 3 年間、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種（キャッチアップ接種）を行います。加えて、接種機会を逃した方のうち、任意接種を自費で受けた方に対しては費用の助成を行います。

【事業の内容】

1 積極的勧奨

対象者	定期接種	小学 6 年生から高校 1 年生（2006 年 4 月 2 日から 2010 年 4 月 1 日生まれ）の女性
	キャッチアップ接種	1997 年 4 月 2 日生まれから 2006 年 4 月 1 日生まれの女性のうち、過去に HPV ワクチンを合計 3 回接種していない方
接種回数		1 人につき 3 回
自己負担額		無料
接種場所		市内指定医療機関（南多摩五市及び相模原市の指定医療機関含む）
周知方法		まちだ子育てサイト掲載、対象者への勧奨通知、わくわくワクチンプラス（定期接種）

2 接種費用の助成

対象者	定期接種及びキャッチアップ接種	対象者のうち、市外での接種等、指定医療機関以外で接種された方
	キャッチアップ接種	定期接種の対象年齢を過ぎた後に任意で HPV ワクチンを接種し、実費を負担した方（法定回数の 3 回から定期接種で受けた分を差し引いた回数）
1 回あたりの助成上限額		18,300 円

【スケジュール】

以下のとおり、対象者への勧奨通知の発送を行います。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
定期接種	高 1	中 1～中 3 に順次発送				
キャッチアップ接種				7 月以降の発送で調整中		

【事業費】

予防接種委託料（HPV ワクチン予防接種委託料）	228,210 千円
予防接種助成金（償還払い）	2,745 千円
印刷製本費（予診票）	158 千円

問合せ先	保健所 保健予防課長 福島	電話	725-5422
------	---------------	----	----------

件 名		新型コロナウイルス感染症対策事業（小・中学校）				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
90,277		46,997	0	0	0	43,280
【事業の背景・目的】 新型コロナウイルス感染流行が長期化する中、従来に比べ 10 代以下の感染者数が増加しており、市内の小中学校でも感染が広がっていることから、各学校において更なる感染症対策等を講じながら、引き続き児童生徒の学びの保障を行うことが求められています。 学校側の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校への予算配分を基本とした国の補助制度である「学校等における感染症対策等支援事業」を活用し、学校における感染症対策及び児童生徒の学びの保障に取り組みます。						
【事業の内容】 1 学校における感染症対策等支援 学校教育活動の着実な継続のため、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品等（※）を配備します。 ※主な配備物品 ・ 消毒用アルコール、使い捨て手袋、非接触型体温計等の保健衛生用品等 ・ サーキュレーター、CO2 モニター、パーテーション等の 3 密対策用品等 2 子どもたちの学習保障支援 児童生徒の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習を実施する際に必要な物品等（※）を配備します。 ※主な配備物品 ・ web カメラやマイク等の ICT 機器 ・ 分散授業を行うための体育用品や楽器類の追加配備						
【事業費】 備品購入費 53,081 千円 消耗品費 37,196 千円						
【特定財源】 学校保健特別対策事業費補助金(国 1/2) 46,997 千円						
問合せ先	学校教育部 教育総務課長 高田 保健給食課長 押切			電話	724-2172 724-2177	

件 名		学校給食における食材等物価上昇対応事業										
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源						
57,517		57,517	0	0	0	0						
【事業の背景・目的】 現在、穀物などをはじめとした食材等の価格高騰の影響によって、小学校・中学校における学校給食で使用する食材の価格が上昇しています。この学校給食で用いられる食材料については、保護者に負担をいただいています。 この学校給食の食材価格上昇に対して、保護者等に負担を求めずに、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を実施できるよう、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のコロナ禍における原油価格・物価高騰対応分を活用して食材調達の拡充を図ります。 【事業の内容】 食材等物価上昇に対応する学校給食食材調達の拡充 ・実 施 期 間： 2022 年 7 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで ・対 象 者 等： 児童・生徒の保護者等（約 3 万人） ・実 施 内 容： 学校給食の食材料における価格高騰に対して、本来であれば給食費の値上げが必要などありますが、保護者の負担を求めずに、これまでの学校給食の質を維持することを目的に食材調達の拡充を図ります。 ①小学校給食は、各小学校で食材調達を行っているため、賄材料費を増額します。 ②中学校給食は、調理受託事業者が食材調達を行っているため、調理・配送業務委託料を増額します。 【事業費】 <table><tr><td>①賄材料費（小学校給食分）</td><td>54,005 千円</td></tr><tr><td>②調理・配送業務委託料（中学校給食分）</td><td>3,512 千円</td></tr></table> 【特定財源】 <table><tr><td>①②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）</td><td>57,517 千円</td></tr></table>							①賄材料費（小学校給食分）	54,005 千円	②調理・配送業務委託料（中学校給食分）	3,512 千円	①②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）	57,517 千円
①賄材料費（小学校給食分）	54,005 千円											
②調理・配送業務委託料（中学校給食分）	3,512 千円											
①②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）	57,517 千円											
問合せ先	学校教育部 保健給食課長 押切			電話	724-2177							